捃拾帖

十六年九月成

十九

A 00
6010

A00-6010

白石先生年譜

三田葆光編

明治十四年辛巳六月

白石社刊行

男爵田中美津男氏寄贈
先代田中光顕伯爵旧蔵書
昭和七年

B 61009

附紙之通リニ候条及返却候也

岡山郵便局

四月廿四日

駅逓局[illegible]

和漢

筆墨硯文房數品

東京外神田末廣町

東雲堂清右衛門

北海名物

鱈田麩

鱈ハ滋養食料の第一等にして即ち牛肉の次なる効能を有する品なり此でんぶれ明治十四年開拓使農業博覧會ゑ出品し褒賞を賜りし以來一層精製したれば幾久しく腐敗せず遠國土産旅行船中の食料ゑ奇妙なり

函館末廣町百十五番地

北海名物調進 六花堂

山本忠禮

西京四條通室町東へ入

御菓子司

横山長久

御筆司

大日本東京神田

末廣町東雲堂

製

大極上
天巾改
青梅綿
綿店
仕入

領收之證

記
一　小冊　数應
明治十六年三月十二日
博物局

湯島天神下同朋町
青梅綿
小杉屋彔七仕入

御誂

金銀輪攫 遠目鏡 虫目鏡

水晶玉 磁石品々 キヅミ類

御眼鏡

下谷南稲荷町
弐番地
冨士屋勇藏

寒暖計 夜がく玉 [illegible]

時計磁石 風よけ目鏡 [illegible]

熊本縣下
國分紙卷煙草
阿蘇商舍

今川小路三丁目八番地
田中芳男殿

東京[illegible]區下[illegible]町
廿三番地
福羽美靜

熊本縣下
國分紙卷煙草
阿蘇商舍

明治十六

よのなかの
ねかひを
美静

[illegible]

熊本縣下
國分紙卷煙草
阿蘇商舍

熊本縣下
國分紙卷煙草
阿蘇商舍

魚煎餅調理之一斑

一臨時ノ来賓ニハ即坐火爐ニ炙リ忽チ好下物ヲ得但タ杯ヲ侑ルノミナラズ且炙リ且話シ大ニ座興ヲ添フ
一素餅ニテモ又ハ湯ニ浸シ柔ラケテ后共ニ油浴ニシ山葵漿油ヲ施セハ更ニ佳味ヲ呈ス
一淪烹テ、テリ焼、ヌタ和ト為シ或ハ三配酢又ハ吸物椀盛茶碗蒸等ニ配用シ又ヒ旨煮ト為ス等尤賞スベキノ第一ナリ
一漿油ヲ摩之ヲ紙焙ニ登テ細末ト成シ熱飯ニ混和スレバ一種奇絶ノ風味ヲ醸ス
右ハ衣ヶ浦ノ鮮魚ヲ撰レテ精製シタレハ貯ヘ以テ暑中ニ腐敗ノ憂ナク寒天モ臭ニ乏シキノ歎ヲ免カレ且其量軽クシテ遠地寄贈ニ太タ便ナリ雅俗トモ掌ヲ抵テ弥賞シ玉フノ佳品ナリ

三河碧海郡大濱港中之切
聴鶴樓主人敬述

名

精製
魚煎餅
三河碧海郡大濱
聴鶴樓

内國博覧會鳳紋賞
京都博覧會賞牌

御装束より帆ぬひ針
諸ぬひは至大針数色々
極上印針草ぬひまで
京染ぬひ針たゝみまで
金銀おはり針縫さく針
達沼むねり針かけきり
同 菅ゆびぬき
同 箱糸巻色々

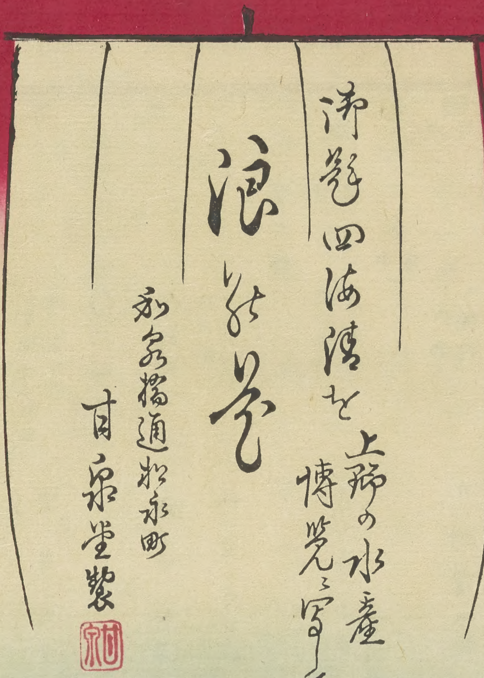
松
本家
針問屋
東京京橋銀座一丁目
みすや中村利吉

メリケン釣針 釣ばり色々
舶来ミシン針 鮎の数針
ミシン小道具 鞄道具品々
トメハリ 同糸数色々
タイドハリ ぬひとり数入
チヤトコ 進物向色々

元祖
東京浅草地内
人形司
竹田縫殿之助

SUPERIOR LIQUEUR
TOSO-IDZUMI.
東京尾張町壹丁目
清泉堂別製

日本盛
酒
木のもとに汁も膾も桜かな



鯛類製造品廣告

大洋に魚類の多きも其味ひの美なるハ鯛を以て第一とす弊店曽て鯛味噌と蒲鉾を以て御愛顧を蒙り月に日に盛大に至りたれバ味噌の調理ハ殊更に注意し腎を補ひ精液を増す龍眼肉を加味して最上の味琳砂糖を用ひ此他鰹鰕鯉味噌も何れも鮮魚を以て製し酒乃下物と茶漬の菜を兼備へたる滋養物なり

鯛煎餅ハ焼塩まされハ醤油を一滴加へ熱湯に投じ食すれバ即席の吸物と成て酒客の喜ぶ雅品なるを家製ハ殊更他に優まさりて厚くて毀損の害なけれバ遠國への御贈物にも輕便にして最も重寶す

鯛鰹田麩もまた新鮮の肉を撰び非常に精製せし物なれバ數日間を経ましも味ひの變る事なきゆゑ旅中船中等の御貯へにて殊更に好く酒飯ともに適したる雅味を存せり

蒲鉾の製品ハ春夏とも鯛鱧を以てし秋の末より冬に至れバ鱝の類に鶏卵の白肉を混和し焼通したる品なれバ空氣の流通の宜き場所に置バ月日を経ましも味を變ぜバ萬一艶を失ふとも再び之を蒸復せバ風味のよき事御試驗の上御高評を冀ふ平日出來合たる品にても他の粗製とハ異れども遠方への御進物を前以て御注文下さるればバ別製に佳良の品を以て數日の間保つを受合ふ尚此外に厚焼天麩羅の類ひも新鮮の種を撰び油も上等品を用ひ精製したる物なれバ御土産物等にも屈竟といふべき浪華の名産なり

右に載る所の品々御誂も別段に大小共御好に任せ定價ハ器に貼用し票告を以て包紙としたれバ戎橋丸萬の目標他の製品と紛れざる様御改め御購求奉希上候也

大阪南區戎橋南詰
鯛味噌蒲鉾調進所　丸萬（万）

たかく浪華にきこゆる丸萬の製品を賞す
もとより名乃戎にちなむ鯛こそハ福を猶部しけまもりなれ　柳亭種彦

岡　盆　公
諸品改正札附
小間物類　荒物ゐ
現金掛直なし
肴丁三丁目
久保田屋庄兵衛

東京上野廣小路角
清淨生掛蝋燭問屋
杉山傳右衛門

INSECT POWDER

官許

蚤虱蟻等之無血蟲ヲ支障殺ス

殺蟲粉

麻袋入 定價金四錢

本舖 松本氏謹

○東京府於 勸業課ニ御試有之候所補物之蟲類障殺奇効ヲ驗依之御買上被仰付藥舖之冥加
發賣藥之譽忻然之至盆栽家必用之藥なり

夫開明の世や日一日より進歩をと雖も人畜ニ無害ふして殺蟲藥あるを未だ見聞せず無血蟲の害たるや蚤虱蟻の類四季をわかたずと雖ども夏日ハ猶更大人すら困難小兒ニをけるや晝夜安眠不能加之蚤虱蟻の殘毒ハ速ニ小瘡と變童の慘酷苦痛見るニ不忍豈慇然と不言得ん予爰に注目日久しく漸く洋人ニ計此度發賣をる殺蟲粉ハ花䓮の粉末ましして調劑藥にならず依之於東京司藥場に御驗査を願御試撿表槪略左ニ

此殺蟲粉ハ西亞細亞(ペルシー小亞細亞)ニ蕃殖スル「ピレトリユムロセユム」及「ピレトリユムカルチユム」ノ如キ「ピレトリユム」類ノ花ニテ健康上無害メ無血蟲ヲ支障シ或ハ殺スト云々

出願ノ殺蟲粉(五ガラム)「我壹匁三分强」ヲ一日三回小犬ニ喰用セシメタレ圧毫モ異變アルヲ不見右件ニ由テ「ペルシヤ殺蟲粉ヲ無血蟲殊ニ蚤等ヲ支障シ或ハ殺スニ決ス云々

(右用ヲ摘)如此御告示有功普通ノ賣藥ト同視ナカラシメンコヲ希望ス其虛ナラザルハ試テ信ゼヨ

○用法

一此粉末疊の敷合ま撒布し或ハ衣類(綿絆下帶の類)夜具等へふりかけ又ハ袋のまゝ臥床一二ケ所へ置ば蚤虱其外無血蟲を障殺す事奇藥中の最弟奇藥也

一毛虱又ハ(俗ニつぶじらみ)等ニハ湯あがりますり込べし

一犬猫狆又ハ飼鳥の蚤羽蟲等にハ此藥をふりかけべし

右何れも二三分時間ニ悉く障殺ス但シ目口へ入ザル様注意スベシ

本舖 内務省免許藥舖 東京本町三丁目十二番地 松本伊八

松本平次郎

發賣元

東京本町四丁目	英藥本舖	松本伊兵衛
同 麴町四丁目	藥舖	小西六右衛門
同 瀬戸物町	藥舖	太田又兵衛

相對發賣不苦御許可ニ付御賣捌希望候也

大取次

同 伊勢町鹽川岸	一粒金丹本舖	永田利兵衛
同 西國村松町	寶丹水本舖	岩淵勝長造
同 本町四丁目	肝涼圓本舖	堀川藏支店
同 淺草諏訪町	諸膏藥本舖	西木平兵衛
同 本町三丁目新道	諸賣藥大取次	鈴原鷲兵衛
横濱野毛町三丁目	えつえやほん本舖	粟原清八郎
上州高崎田町二丁目	和中飮本舖	鈴木茂平治

○三府五港諸縣下共取次所有之候間最寄ニテ御求可被下候

殺蟲粉本舖松本活版所同郷原町開明社印行

たらちねはちふさはなれてをまへ子は
よまろたとれ弘道志はは露
うめ子

運賃
假贈券

明治十一年四月三日

右之通積送候條其着御改御受取有之度候也

東京上野公園内
田中芳男殿

和
横濱弁天通六丁目
船客荷物取扱所
和田屋彦太郎
東京京橋南紺屋町
支肆

貯金事務

上野公園内博物館
田中芳男殿

驛遞局

内務大書記官
田中芳男殿

龍眼肉製 雲丹味噌 精製雲丹 美淋漬

夫雲丹ハ北海乃佳品にして甚美味なれバ人の知る所なり 御礼にも最も賞味ある也 甚だ稀し 然るの雲丹味噌を龍眼肉と製し 魚と同じく食するものにして 諸病の便なる事の保し 無二本体の香味と共に慶するものにて 且精力を増し 胃を補ひ 旅行乃携帯或ハ温泉場及び席の便利にして 頗る美好 愛顧の諸君 多少に不拘御注用向上[illegible]度奉希望候也

金十五銭以上壱壜次第

精製 粕并糀漬

一 見好地　一 一ノ瀬鮎　一 小鳥類　一 鮎ノ子
一 蕪菁　一 長大根　一 松茸　其他品々

夫れ当国の特産なる長門萩の逸物にして地一の諸物其他数の良品を製する其他なり今又其良品を集めて精製の粕を以て一層の勉強を尽し本体美質なる尚美味良味と加へ精製する所にして寒暑の保存ハ元より其香味の新鮮なるハ実に尋常粕漬の類にあらず 遠国旅行の土産 贈答及土産等にして最も重宝便益乃佳品なり 愛顧の諸君 陸続御来駕あらんことを奉伏願候也

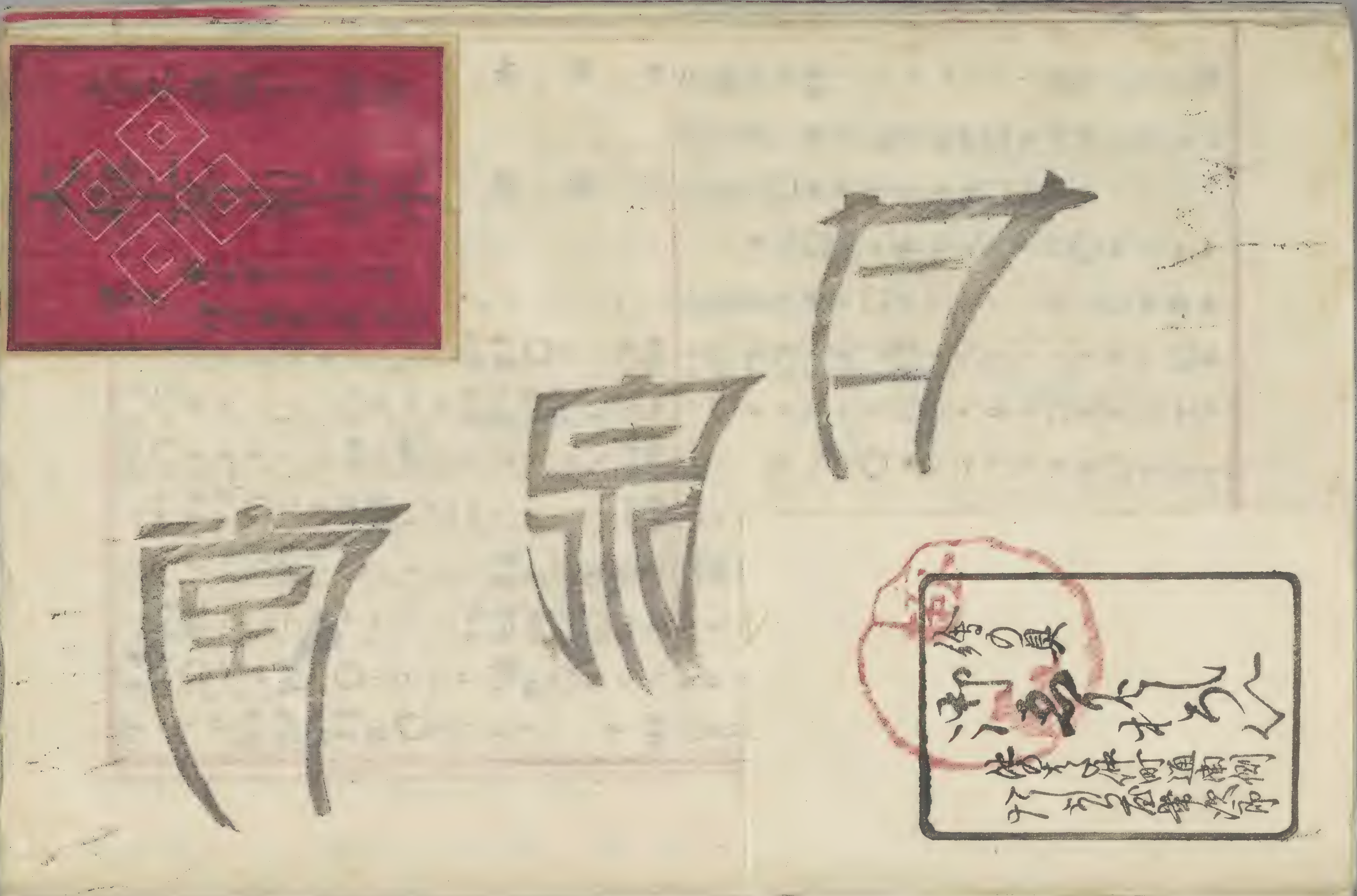
[illegible]

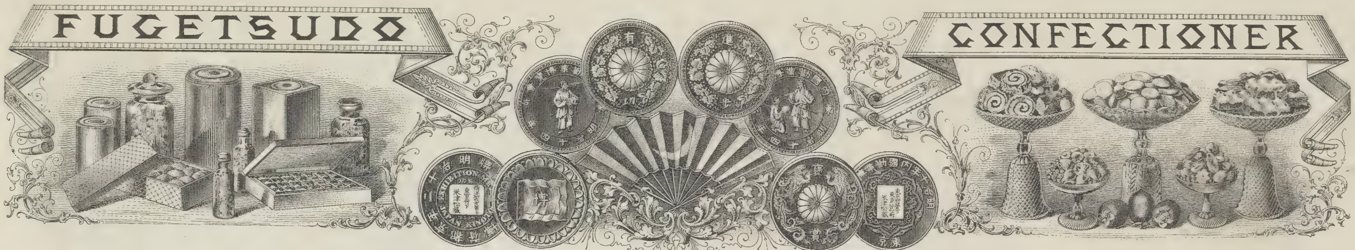
萩東田町
翠桃園
堀製

珍菓司
上野山城道
金澤松林

粕漬物所

明治十一年愛知縣名古屋博覧會
褒状
三河国西加茂郡挙母村
平岩喜三
鮎粕漬
収藏宜キヲ得テ風味甘美ナリ
右ノ事項ニ因リ褒賞アランコトヲ申請ス
審査係 服部直衛 印
審査係長 西田廣規 印
審査官 光永弘道 印
池田謙藏 印
右審査官ノ薦告ヲ領シ之ヲ褒賞ス
明治十一年十月廿日 愛知縣令従五位安場保和 印





稟告

良製ビスケツト

西洋ニテ滋養第一ト称スルビスケツトハ其味甘美清爽淡泊ノ雅品ニシテ花晨月夕飯後茶前特ニ咖啡ヲ喫セシアトナトハ必ラス欠ク可カラザル良菓ナリ加之善ク脾ヲ調ヘ胃ヲ補ヒ愛子愛孫ノ食用ニハ他ノ食物ヲ調和スルノ功アリ随テ過食モ害ナク實ニ洋人常食ノ珍ト為スユヱンナリ

最上カステイラ

カステイラハ往時蘭人ノ遺法ニ始マリテ本舗ノ経驗ニ成リ其味甘キニ泥マズ淡キニ失セズ洒〻落〻澹泊ナルノ雅趣ハ彼ノ陶家黄金ノ花色ニ似タルハ菓中ノ隠君子トモ謂ンカ茗醼ニ興味ヲ賛ケ酒後ニ餘韻ヲ傳フ實ニ江湖鍾愛一日モ怠タラザルユヘンナリ

新製ボンく

ボンくハ西洋菓品製造中ノ最モ難シトスル処ナリ何トナレバ糖房凝固ノ中ニ流動質ノ飲物ヲ含蔵セシムルモノニシテ殆ント天造モ及バザル作用ヲ人造ニテ製出スレバナリ而シテ本舗辛苦良製ノ結菓ヲ得タルハ夙ニ江湖ノ喝采ヲ博シタリ高會談罷ムノ時讀書氣倦ムノ後一喫能ク心目ヲシテ豁如タラシメ又妙ニ酒渇ヲ療スルノ快アリテ實ニ珍菓中ノ精品ト謂フ可シ

祝日御飾菓

一 フロンゲイク

一 メンチバイ

其外各種

抑モ西洋菓子ヲ本邦ニ於テ創製セシハ本舗コレガ鼻祖ニシテ厥ノ初メ洋食ノ方サニ世ニ行ハルヽヨリ茲ニ感アリテ該精製ノ工夫ヲ癸企シ洽ネク内外人ノ需用ニ供セシヨリ大ニ時好ニ適シ遂ニ明治十年内國勧業博覧會ニ出品シテ鳳紋賞牌ヲ賜ハリ同ク十四年博覧會ニ於テハ有功一等賞牌ヲ賜ハリ特ニビスケートハ進歩二等賞牌ヲ賜ハリタリ實ニ本支舗ノ榮耀之レニ過ギズ就中ボンくハ最モ本舗ノ焦思苦慮シテ効ヲ奏セシモノナリ此ク再度ノ賞牌ヲ賜ハルノミナラズ既ニ支舗ヲ數所ニ開クニ至リシハ全ク江湖諸君ノ奨勵愛顧ニヨリ開進ノ結果ヲ得シモノナレバ茲ニ鳴謝ノ意ヲ表セン為メ一層廉價ニ販賣シ廣ク御好ニ應シ調進セント欲ス尚クハ舊ニ倍シ愛顧ノ益ス深カランヿヲ

東京京橋區紺屋町十三番地中島石版所印行

歐州風菓子乾燕餅製造所本舗
東京府下日本橋區両國若松町
風月堂 米津松造 [印]

同 分舗
京橋區南鍋町
同 米津恒次郎 [印]

同 支舗
神田區佐柄木町
同 穂積峯三郎 [印]

[illegible]

[illegible]

清浄采女町

生掛 ろふそく所

元屋喜三郎

KASUTERA.

最良製

カステイラ

御ようかん

御日光本町壱丁目

御菓子司

綿屋半兵衛

御用

田中於松様

白眼水

[illegible]

宮内藥室

証

一 蠟燭 壱箱

[illegible]

右正ニ受取候也

明治十六年三月十二日

京橋區八官町七番地

古光堂 藤嶌

田中芳男殿

大荒切

東京府廳
試驗濟

やにぬき
大口香
TOKIO JAPAN
官許製造
日本東京
鈴木製
MANUFACTURED BY SUZUKI

やにぬき
HAND-CIGAR
MANUPACTURED
SUTSUKI
TOKIO JAPAN
御用御莨調進所
東京神田區三河町一丁目
鈴木製
御試驗濟
東京府廳
明治二十年十月
發明 官許

領證

一金拾銭也
右正ニ受取候也

九月廿日

品川弥二郎
執事

於大日本帝國
東京
南傳馬町二丁目
菓子製造家
本舗
風月堂清白
FOOGETSUDO SEIHAKU
CONFECTIONER
MINAMI TENMACHO NICHOME.
TOKIO
JAPAN

一楽

東京大傳馬町三丁目
現金
[illegible]

東京大傳馬町三丁目
現金
[illegible]

記
一金[illegible]
右正ニ請取候也
三月廿七日
銀座壹丁目壹番地
日就社
田中芳男様

備中種
巻煙艸
岡山縣備中國川上郡下原村
出品人 大杉磯吉

拝啓陳ハ本月二十八日日本銀行開業式執行候ニ付夜會相催候間同日午後第九時ヨリ永代橋際當銀行ヘ御光臨被成下度致希望候敬具

明治十六年四月十日
日本銀行總裁吉原重俊

農商務大書記官田中芳男殿

御光臨ノ節此招狀御持參被下度候

石

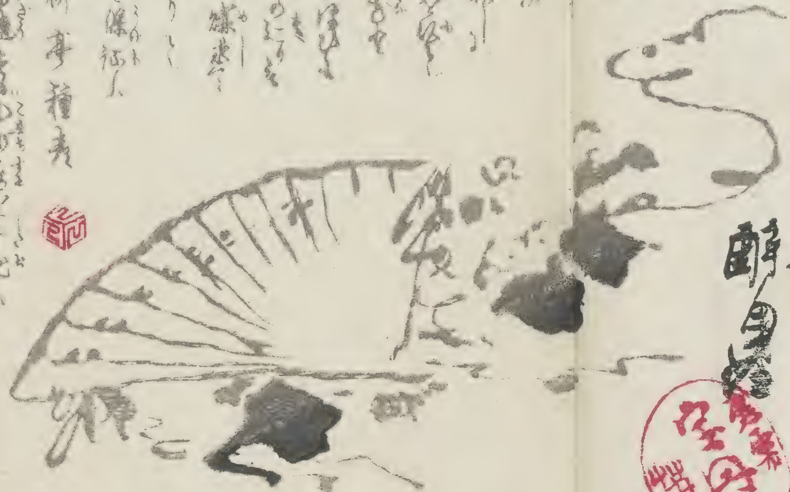
夕霧[illegible]

東京 [illegible]

東京瀬戸物町八[illegible]
駿河屋又兵衛[illegible]

明治[illegible]年五月届 [illegible]

[illegible]



柳亭種彦

東京瀬戸物町
駿河屋又兵衛
[illegible]

樫田伝之助
松元岡三郎
書簡

記

金壱円二拾五銭
但 ……

右之通正ニ受取申候也

十一月五日

櫻井□之□

證券界紙

一 書籍壱個

博覧会運送事

右積送り候其筋へ御渡可被下候

明治十三年十一月

愛知県知事御用

小塩五郎

東京上野公園地内官宅
田中芳男殿

山本吉三郎

證券界紙

送券

先拂賃 ……

一 箱 壱個

小塩五郎

右積送り開運之者御掛査之上御渡可被下候也

名古屋傳馬町
内國通運會社
出張所

東京公園内
田中芳男殿

廣告

一　下駄　足駄　駒下駄
　　傘　雨天　日傘
　　鼻緒　麻裏　草履
　　柳合羽　什　八　羽

其外品々商売

右之品々仕入方吟味仕差上申候間
御求之上御試被下候様奉願上候
文字[illegible]
以後文字御用向之節御沙汰被下度
偏ニ奉希上候

三河町弐丁目一番地
角川屋文吉

口上

先以益御機嫌能被遊
[illegible]
諸方様[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十六年五月廿日
[illegible]

池の端仲町
十七番地
御菓子
御料理店
駿河屋[illegible]

魚野餅

浪花
精製魚餅
揖合橋北詰東入北側
鴨トラ

浪花
精製魚餅
揖合橋北詰東入北側
鴨トラ

蘭谷生

煙草印紙

口演

一下り掛箱蠟燭之儀者近来追々
御好ニ相成候ニ付今般更ニ別仕入ニ改正
致古実以テ生蠟ヲ巻掛ニ製造仕り
候間暑中ニ相成候共聊相変り不申候
殊ニ堅ク立流レ等少もこれ無之
浄徳用専ニ仕立候故何卒御試
被成下候用向偏ニ奉願上候以上

七夜掛

清浄神佛
巻掛蠟用
暑中請合

精生蠟燭

東京上野廣小路角
山崎屋勘兵衛製

五拾八挺

玉寳堂號

本店各種名筆諸般文具揀
選精粋是以層上頭図章
賞牌今又佳製加工専随
紳商所好貴客光顧者須認
明本號開張東京上野元黒門
衖第十四号地發兌

五世 野村郎右衛門欽白

ジュブスケ義外十八日午前第十一時五十分死去致
シ候ニ付此段御知ラセ申上候也
但明廿廿一日午前第九時半築地天主堂ニ於テ
讀經同午後第三時飯倉片町廿八番地ヨリ出
棺青山墓地ヘ埋葬致シ候事
六月十九日
マリー、ジュブスケ

第六十八號
證
右之品正ニ受取封印之儘配達可仕候也
但シ不着取調三週間限
京橋區
南傳馬町一丁目十八番地
品物配達所
明治廿二年四月廿日
様

中川屋
長

現金
無掛直
御誂足袋股引所
中川屋長右衛門

中川屋 長

現金

御誂足袋股引所

無掛直

[illegible]

中川屋長右衛門

ジュブスケ義外十八日午前第十一時五十分死去致シ候ニ付此段御知ラセ申上候也

但明廿一日午前第九時半築地天主堂ニ於テ讀經同午後第三時飯倉片町廿八番地ヨリ出棺青山墓地ヘ埋葬致シ候事

六月十九日

マリー、ジュブスケ

第六十八號

證

右之品正ニ受取封印之儘配達可仕候也

但シ不着取調三週間限

京橋區南傳馬町一丁目十八番地

品物配達所

明治廿二年四月廿日

様

謹製

むしろ

産地山口縣下周防國
大島郡沖家室嶋

西

名産

磐城國白石長町東側

御誂紙布類卸處

山崎屋清右衛門仕入

明治　年　月　日

貨物輸出記

届先姓名	元價	

出貨主

伊勢四日市湊

黒川彦左衛門

名物

干烏賊

丹後宮津

山田屋甚七良

白柏町

名物
千鳥賊

丹後宮津
山田屋甚七良
白柏町

明治十六年十月之

貨物輸出記

元價

届先姓名

田中善助

出貨主

伊勢四日市湊
黒川彦左エ門

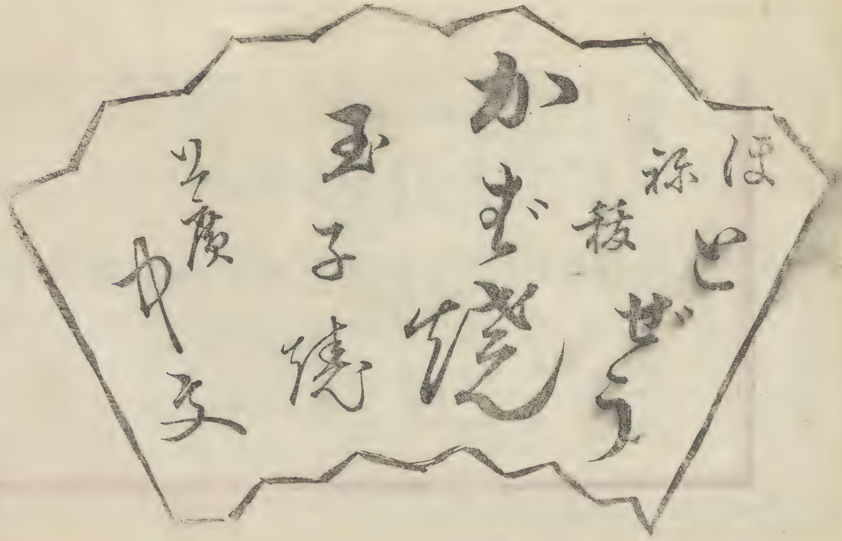
運賃濟

配達料

名産

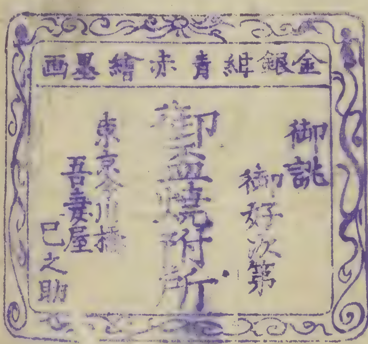
磐城國白石長町東側
御誂紙布類卸處
山崎屋清右衛門仕入

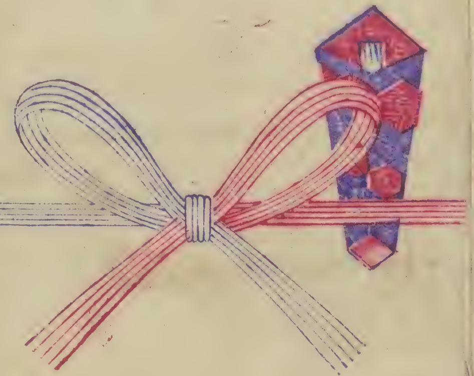
玉館製
たまごでんぷ


玉子焼

東京
御盃所

御
盃


金銀緋青赤繪墨画
御誂
御好次第
御盃焼附所
東京今川橋
吾妻屋
巳之助



謹而口上

御家内様御揃益々御機嫌克珍重奉賀候随テ毎々御引立思召ヲ以御注文被仰付難有仕合奉存候御蔭以テ日増繁榮仕候猶此後共不相變御贔屓之程幾重ニモ奉願上候恐々謹言

覺

右之通炭代金慥ニ受取申候以上

明治十 年

井 青山 炭店

東京鐵ほふす本みなと町

田中様

1 SEN 印紙 一錢 1 SEN

食餌

此焼塩ハ銭何波の唐ヘの潮を煮て製したる物にて善哉魚汁うしほ菱鶉肉を煮たるはすまし吸ものなどに用ひて甚味ひいとよろしく殊ニ旅中に携へ玉ひて菜となふるに便なれは用ひて其の能を知り玉ふべし

味ひもなきてまたかし
からやまで
音りなるとも
浪の花しほ

阿波唐ヘ眼
製本玉山堂

受取之證

品名數	届先姓名	運賃	元價
一 油樽			金

右御封印ノ儘正ニ受取候也

明治十年 月 日

諸港行貨物
乘客扱問屋

神田區田代町九番地
上田屋丹治

書留郵便物請取證

第 三 八 一 號

請取人 宿所 氏名	差出人 宿所 氏名	書状	書籍
		一 通	箇
		新聞 箇	見本 箇

官許 即功紙

即癒

濟世堂製

新發明

梅香ねりもみ

製造元 廣島縣下安藝国沼田郡新庄村 山本孫兵衛

東京元弘所 丸谷新八

東 今 京

船来シャボン マッチ

其外品々

上野西黒門町五番地

上総屋卿次

書留郵便物請取證

第 一二二 號

書状	書籍	新聞	見本
一通	箇	箇	箇

請取人 宿所氏名	差出人 宿所氏名
信州	上野上公園

書留郵便物請取證

第 号	書状	新聞紙	書籍類	見本類
	一通	X箇	X箇	X箇

請取人	差出人	
信州 桜井	上野公園 田中芳男	明治六年二月一日 郵便局

百壽香御白粉

金化粧吉祥香

花乃艶

春の雪 紅梅香

御伽羅之油

東京池の端仲町通

向井屋

風流

御扇子團扇

京 池之端仲町 山川屋相治

紀州

諸品大安賣

第一二〇號

領収證

金廿五銭也　六ヶ月分集成金

右之通領収仕候然ル上ハ製本次第速ニ配達可仕候爲後日如件

明治十六年五月八日

東京麹町區飯田町三丁目拾九番地

東京金玉出版社

田中芳男殿

領收證

[illegible]

六月三日

[illegible]

領收之證

一 [illegible]状 [illegible]

明治十六年五月一日

田中大書記官殿

博物局
庶務課

外神田
神田川
明神下

香水香油品々
鼈甲櫛笄品々
金銀かんざし類
神田義士代町三丁目
拾四番地
明林堂

現金
安賣
[illegible]
今川小路三丁目
山本

来ル二十二日午後九時延遼館ニ於テ夜會相催候間同時御光臨被下度此段御案内申進候也

諾否之貴答ヲ乞

明治十五年八月十四日

特命全權公使上野景範
同妻
特命全權公使寺島宗則
同妻

農商務大書記官 田中芳男殿
同御夫人

[illegible]

来ル一日農商務省議事堂ニ於テ例ノ通小集會相開キ申候ニ付午後第一時出席相成度此段及御案内候也

追テ出席ナリ否共御報知アリ度候也

明治十五年六月廿九日
大日本山林會

拜啓来ル二十四日（第四土曜日）午後一時ヨリ例ニ拠リ神田錦町華族會館ニ於テ小集會相開キ申候當日ハ會頭殿下ニ於テモ御臨席可被為成候條可相成御參會ノ上宿題（前會ノ續キ鮎魚一切ノ事）ニ拘ハラス何ナリトモ御講述相成候樣致度此段御照會申上候也

明治十五年六月
大日本水産會

賣渡約定證

第四拾号番
第四區 一類 出品人

一 [illegible]

此代金 [illegible]

内金 [illegible] 手附金トシテ四月十九日受取

殘金 [illegible]

明治十六年四月十九日

水産博覧會 [illegible]

来ル廿三日本會小集會散席ヨリ築地近源亭ニ於テ忘年會相催申度候ニ付御同意ノ諸君ハ同日午後四時ヨリ同處ヘ御枉車被下度此段御通知申上候也

當日會費金壹圓五拾錢御持參之事

大日本水産會幹事

明治十五年十二月十五日
關澤明清

追而御來車ノ有無共來廿二日正午迄ニ内山下町壹丁目壹番地内本會庶務大内宣譽迄御通報被下度候事

来ル八日（第二土曜日）例ノ通小石川表町傳通院ニ於テ午後第一時ヨリ通常會相開キ會員講説致候此段及御案内候也

明治十五年七月四日
林學協會
幹事

來ル八日午後第一時芝公園内紅葉館ニ於テ本會例月ノ小集會相開左記ノ宿題其他農事ニ係ル談話ヲ相催シ候ニ付御參會被下度右御案内申上候以上

宿題　稻米一切ノ事

明治十五年七月五日

大日本農會

追テ酷暑ノ候ニ向ヒ殊ニ悪疫流行ノ兆モ有之候ニ付來ル八九兩月ハ小集會休止致シ候間此段モ併テ申上候

陸軍軍醫總監宮内省御用掛正五位勲三等林紀儀有栖川宮殿下ニ隨ヒ歐行中佛國巴里府ニ於テ病死致候ニ付來ル七日午後一時四番町十三番地宅ヨリ出棺小石川傳通院ニ於テ葬式相營候條此旨御報知致候也

明治十五年九月四日

本月廿一日東京柳橋柳光亭ニ於テ例ノ舊交會相開候間午後第一時ヨリ御臨席ヲ乞フ

但シ會費壹圓之御出席ノ有無トモニ来ル十八日マデニ幹事方へ御報知有之度候也

三月十日

幹事

[illegible]

新年拜賀

栂尾寶物繪巻圖

小川 [illegible]

來ル八日午後第一時芝公園内紅葉館ニ於テ本會例月ノ小集會相開左記ノ宿題其他農事ニ係ル談話ヲ相催シ候ニ付御參會被下度右御案内申上候以上

宿題　稲米一切ノ事

明治十五年七月五日

大日本農會

追テ酷暑ノ候ニ向ヒ殊ニ悪疫流行ノ兆モ有之候ニ付來ル八九両月ハ小集會休止致シ候間此段モ併テ申上候

本月廿一日[illegible]ニ於テ例ノ舊交會相開候間午後第一時ヨリ御臨席ヲ乞フ

但シ會費金二圓之御出席ノ有無トモニ來ル十八日マテニ幹事方ヘ御報知有之度候也

三月十日

幹事

上野公園内
豆會
田中芳雄様

麹町區四番町十三番地

男　林　若吉
親戚　松木　順
仝　榎本武揚
仝　赤松則良

栂尾寶物繪巻圖

小川拾作

本郷壹丁目
丸屋[illegible]

御菓子

水天宮前
あめ屋
[illegible]之助

月日かん

南海銘産

和歌山縣紀州西牟婁郡
田邊本町
小井捨吉
賣品代金五拾銭

日印 千金丹

四十五角入 定價拾錢
二十角入 定價五錢

主治 ○霍亂○咳嗽○下り腹○しぶり腹○鬱氣○氣絶○積氣○胸痛
用法 ○腹痛○溜飲○水害○酒醉○船車醉○眩暈○頭痛○口中不淨○頭痛には左右のこめかみにつはにてはりてよし

抑此千金丹は我先祖代より對馬國に於て精製し此藥剤お世に施行事始て二百余年に及り患者是を用いて驗効を爲し諸彦希望すれ共絶海の一島にして其便を求るを得ず因て購求販賣便利た◯假に東京便利の場所に於て尚一層製錬に入念し大政府の撿査を經て其免許を得茲に販賣す四方の諸彦求て其効を實驗し玉わらバ幸甚々

近來類饒多きに付◯目印を付し發賣仕來候千金丹の元祖弊店の家法効能の貴重なるを御信認被下御求の節ハ目印御吟味之上御求之程奉願上候
最予千金丹の藥効世人皆知る處にして日增に盛大相成候に我千金丹藥◯の印等付け賣出者もあきにしもあらざれハ仕來向一當より御吟味之上御求被下度奉希候

錫入千金丹

大錫入 價 拾錢
中錫入 價 拾貳錢
小錫入 價 六錢

附言本紙千金丹の愛顧諸君の御好も有之危急の症を救んが爲先今般錫入千金丹を發兌仕候効能等ハ本紙千金丹と毫も異なるとなし短書ながら御披露仕候

官許
元祖
東京神田區須田町十六番
住永回春堂
同日本橋區本石町一丁目支店
住永同店

各支店
東京淺草並木町五番地 神田昇
同四ツ谷麹町拾一丁目 森回成堂
東京神田鍛冶町 菓士代町 早川金誠堂
同神田佐柄木町 小園文花堂
久留米通町三丁目支店 鶴童屋 岡益藏
西京府下京區第拾貳組 堀田兵衛
大坂府西區江戸堀弐丁目 風間金兵衛
横濱太田町三丁目 栗山綠雲堂
宮城縣仙臺古河驛 小林音治
朝鮮釜山浦居留地 黒岩喜三郎

日　月　№

用法　藥

上野櫻木町
鶯溪醫院

調劑藥舗　東京飯田町二丁目九段坂上五十一號　資生堂山内

月
日

芳薫
中澤

日盛

官許　一吸千金　君(きみ)の友(とも)

玄やまう入　壹包　價三錢
並包　價　壹錢五厘

此の君の友の有効(きゝめ)たるや第一たばこ拾匁の中へきせるの火皿に二三ぶい程(ほど)振(ふり)かけ置(おけ)けバ其煙艸(たばこ)の脂(やに)をけし其味ひハ更(よろし)に芳香(よきにほいかをり)を發し諸々の臭氣(あしきにほい)を拂ひ不淨除(ふじやうのぞ)く故ハ若し是を常に用れバ口中の熱(ねつ)を去り又脂(やに)ふかく呑口(つみ)あしき煙艸にても速(たちま)ち國府(こくぶ)の香氣に變化なるのミならず煙艸の毒(どく)氣をのんどに殘(のこ)る憂(うれい)なし總(すべ)て流行病(はやりやまい)の際(とき)などにハ必ず是(これ)を懐中(ふところ)に入(い)れ置(おけ)バ自(おのづ)から傳(うつる)深の憂(うれい)を免(まぬ)かれしむ特(とりわけ)に御婦人方常に是を懐中して匂袋に至極宜敷或ハたんす衣類(きるい)等總てむしの附やすき物品に入置ハ濕(しつき)氣を拂ふ故虫或ハかびの生づる事なし

附言右ハ藥ニ非サル故請賣手數ハ相掛リ不申候

芳薫　鑒製所　藥舗　東京神田鍋町拾六番地　中澤條助

君の友　大取次販賣元　同　神田鍋町拾八番地　太田鶴次郎

元祖まげんきや

右君ノ友ノ義今般大取次發賣仕候間本家同様元價表ニ準シ差上候間何卒多少ニ不限御購求賜ハンコチ是祈ル

取次賣弘所

○新撰 **傳家寶** 西洋綴 全一冊
定價三圓 前金割引金二圓

今般弊舖藏版中家中經濟に係る書三十種（安樂の種○家政妙論○破産豫防法○活計論○致富の要訣○家内の儉約○臺所規則○亭主の心得○女房の心得○妻妾百本針○西洋夫婦事情○夫婦互の裁判○女房の功能○子供の心得○後家の誡め○おさんの穴○生命保險○長生のもとゐ○心の養生○早起の功能○養生違○日用食物の用心○育兒法改良說○交合利害新說百ヶ條○男女交合理學○交合條例○懷妊避妊自在法○有夫姦檢察法並豫防法○智惠袋○遺言十ヶ條）を纂輯して一の合本となし傳家寶と名けて出版仕り就てハ右御贊成前金御拂込の諸君（三千名限り）へハ定價の内一圓引即ち二圓にて三月三十日迄ニ送本可仕旨曩に及廣告ハ處四方の雅君陸續御贊成既に滿員に及ひハハ弊店の名譽と實に不堪感銘ハ然るに右書目中に治家上實歷親踐の書の缺けたるハ衣に衿なきの嘆を免かれざれバ之を增補せよと御贊成の諸君より强ひて御勸めに關りハ處該書價に定限あれバ甚以難有迷惑ながら御愛看の御禮の爲め其定價を增さず尙ほ世帶實驗錄の一書を卷末に差へ電覽加に備へ可申ハ就てハ其編纂及ひ印刷に時日を遷しハに付不得止送本ハ四月三十日迄一ヶ月の延期に及ひハ間之を幸ひとして猶ほ其上五百部限り四月廿五日迄前金御拂込の豫約增員仕ハ不相替御贊成被下度此段更に廣告仕ハ以上

發兌元	東京南鍋町一丁目七番地	**兎屋誠**
同	大坂唐物町三丁目五番地	**同支店**
取次	尾州名古屋本町二丁目	**石版舍**
同	函館地藏町	**田中兵太郎**

煙花目録

前日

番外	三發
一第壹號	青雲遠近雷鳴
一第二號	捧ヶ傘ム
一第三號	黄烟柳
一第四號	明からを
一第五號	本會ノマ子
一第六號	黒雲雷鳴
一第七號	赤白吹あがし
一第八號	黒雲雷鳴天遊龍
一第九號	烟傘
一第拾號	官吏昇進
一第十一號	螢柳
一第十二號	黄烟柳雷鳴
一第十三號	雨晴テ杖
一第十四號	千羽舞鶴
一第十五號	祭日ノ禮
一第十六號	光烟柳
一第十七號	小兒傘
一第十八號	赤雲雷鳴天遊龍
一第十九號	ブドウニ木鼠
一第二十號	龍宮公使
一第廿壹號	白雲黄烟柳二段發
一第廿二號	紅光星黄烟柳
一第廿三號	光雷鳴
一第廿四號	龍さまあそひ
一第廿五號	小兒手ありひさまや〳〵
一第廿六號	花柳雷鳴
一第廿七號	輪出國ノ幸
一第廿八號	青紅乱星
一第廿九號	子持龍ありひ
一第三十號	雷鳴青赤雲柳
千秋樂	大十段發（ハチノスタチ）

後日

番外	三發
一第壹号	黒雲雷鳴
一第二号	柳ニ鞠
一第三号	夕立
一第四号	小兒手ありひ太鼓
一第五号	西洋さまあそひ
一第六号	黄柳千筋
一第七号	數傘
一第八号	赤白籏
一第九号	金貝砂子
一第拾号	御神燈
一第拾壹号	白赤雲柳二段
一第拾貳号	青雲雷鳴天遊龍
一第拾三号	花柳黄烟二段發
一第拾四号	青白雲雷鳴
一第拾五号	千羽からを
一第拾六号	赤青黒烟三段發
一第拾七号	赤雲雷鳴
一第拾八号	蝙蝠傘
一第拾九号	金光星
一第二十号	赤青雲玉やあき

來ル九日十日興農競馬大會ニ於テ我流曲乘幷競馬番組毎ニ前記ノ如ク打揚ヶ大煙花施行候事

但シ両日共番組外數十本打チ揚ケ

[illegible]

雄勝 玄昌石之記

陸前國桃生郡雄勝濱ノ海岸ニ山アリ硯濱ト日ヒ呉壺山ト日フ此山皆黒色沼濱ノ一礦石ヲ産ス吾輩官許ヲ得テ之ヲ採堀シ先ヅ學校用ノ石盤ヲ製シ販賣スル所ニ四年來其品位ノ精良ニシテ價格ノ廉直ナルヲ愛スルヤ需用日ヲ逐テ熾シク遂ニ全國ニ洽キ勢アルノミ既ニ海外ノ輸入ヲ仰ガザルニ至レリ此吾輩ノ幸福ノミニ非ズ實ニ全國ノ幸福ト謂ベシ是ヨリ先キ別ニ其質緻密ナル者ヲ撰ミ試ニ數硯ヲ製シ高木壽穎翁ニ示ス翁ハ府下文房具ヲ鬻グノ巨商ニシテ古器ノ識鑒ニ名アリ一見手ヲ拊テ嘆ジテ曰此石支那歙州ノ龍尾石ト同質ニシテ其在ニ出ル蓋シ數等全體光滑ニシテ石質ナク水ヲ滴シテ乾カズ墨ヲ磨シテ聲ナシ所謂發墨ノ妙自ラ意外ニ在ル者ニアラズヤ余昔年菱湖卷先生ニ親炙シ其愛研玄昌石ナル者ヲ睹ルヲ得タリ先生曰此石仙臺侯管内雄勝濱ニ産スル所ノ硯材ニシテ之ヲ名ヅケテ玄昌ト云フ侯愛玩ノ餘リ人ノ妄リニ採掘スルヲ許サズ偶愛ヲ割テ僕ニ賜フ所ノ者ナリト此レ蓋シ四十年前ノ昔話ニシテ今日再ビ之ヲ睹ルヲ得ル豈文場ノ奇遇ニ非ズヤ予等夫レ勉メテ之ヲ製出セヨ僕亦文場ノ諸賢ニ媒介シ昔時ノ奇遇ニ背カザランコトヲ是ニ於テ之ヲ吾カ文場ノ諸賢ヲ首メトシ遠ク支那朝鮮ノ文人墨客ノ愛顧ヲ辱フスルニ至レルハ亦吾輩ノ幸福ノミニ非ズシテ實ニ此石ノ幸福ト謂ノベシ今ヤ更ニ石質極メテ緻密ナルモノヲ精撰シ勉メテ價格ヲ廉ニシテ以テ諸賢愛顧ノ盛意ニ報答セント欲シ大ニ江湖ニ發賣セントスルノ期ニ臨ミ石質ノ頗ル他ノ黒石ニ類似セルヲ以テ或ハ誤視セラレンコトヲ恐レ此石ノ由テ來ル所ヲ記シ聊カ斯ニ贅言スルノミ

紀元二千五百三十八年第十一月

東京茅場町新榮橋際
石盤硯製造并販賣所
岩出常三郎
本店

陸前桃生郡雄勝濱
石盤硯製造并販賣所
岩出支店

大坂平野町三丁目
販賣所
岩出支店

東京大傳馬町二丁目廿四番地
販賣所
岩出支店

證

一金壹錢　配達賃

右正ニ受取候也

月　日

佐内町
内國通運會社 （通運會社）

御懐中 湿気払
發香散
御手軽 白げ

發香散
御懐中 湿気払
歯白粉袋
東京神田富松町
守田宝丹支店
伴氏製

東京神田區富松町十二番地
守田宝丹支店
百和香本舗
伴 盛松堂
岱藏製

御懐中湿気払

發香散（えつかうさん）

守田宝丹支店
伴 岱藏 謹白

一 抑此發香散の儀ハ去ル明治七年甲戌中弊店開舗の際本家守田主人其製法を授せしかば愚案縁光顧により意外繁雑をきはめやむを得ず其調製を延引せしところ近来諸君の御望み方の程もこれありはじめて今回このたび製造致し何卒該品の名稱にたがはず廣く江湖に發行仕り候間何卒御愛顧の程偏に奉希上候

効用

一 御懐中にそのまゝ御白粉袋の代用となる事
一 たんすのうちへ入れおきて衣類のしつけ虫をのぞくべし
一 あしき匂ひをさくるにハ臭気へあてゝおくべし
一 口中に含みてよく口臭をさる事
一 手のひらにぬりてよき香のかをりを發すべし
一 ひとつまみほどを水に入れ顔を洗へば
一 たばこへまぜてやがて香をよくすべし

右の如く効能あまたある品にて候へば御試しの上何卒御愛顧下さる様偏に願上候

交友社博物會廣告

一明治十六年五月六日勢州桑名淨土寺ニ於テ本社春季博物會ヲ開クベシ

一會日晴雨ヲ論ゼズ午前第十時ニ開キ午後第四時ニ閉ベシ

一出品ハ動植鑛及農產物諸種ノ機械新古書籍書畫陶磁器金銀銅器漆器彫刻物玉石類古代器物等總テ博物學上參考ニ供スベキ百般ノ品類タルベシ

一出品ニハ每品必解說ヲ附シ出品主ノ住所姓名ヲ墨記スベシ

但賣品ハ代價ヲ朱書スベシ

一出品ハ本會前日午後第二時迄ニ前記ノ會場ニ於テ之ヲ受ケ直ニ幹事ノ領証ヲ交附シ閉場ノ翌日返壁スベシ

一遠地ノ出品ハ往復運送費ノ全額或ハ其幾分ヲ本社ヨリ支辨スル事アルベシ

一出品ハ本社ニ於テ相當ノ保護ヲナスト雖モ萬一盜難火災風震等ニ罹リ其他避クベカラザル事故ニテ破損スルトキハ本社其責ニ任ゼザルベシ

一觀客ノ場中ニ入ル者ハ必縱覽札ヲ携フベシ

一縱覽札ハ便宜ノ所ニ於テ無料ニテ渡スベシ

明治十六年四月二日

交友社

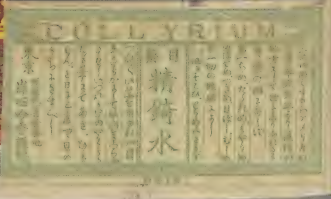
交友社博物會

縱覽之證

一明治十六年五月六日午前十時ヨリ午后四時マデ勢州桑名淸水町淨土寺ニ於テ開會ノ事

一展覽人ハ一名每ニ此証一枚ヅヽ持參スベキ事

一展覽人入場中ハ其場所ニ揭ゲタル心得書ヲ守ルベキ事



物品會課題

毎月第一第三土曜日午后第一時ヨリ愛知縣名古屋區西二葉町植物園ヘ集會ス午後第四時ニ閉會ス
毎月二十五日社員各邸ニ於テ輪會ス午後第四時ニ開會シ十時ニ閉會ス

愛知縣下 嘗百社

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
第一土曜	橙橘科	松柏科	楊柳科	薔薇科	十字科	禾本科	禾本科	葫蘆科	羊齒科	柿樹科	穀菽類	木材品
第三土曜	介殼類	海魚類	種子類	種子類	蟲類	蟲類	水蟲類	河魚類	藝科	菌蕈科	鳥類	金石類
二十五日	礦石類	海藻科	食用植物	藥用植物	石南科	纖維植物	繖形科	地衣科	有毒植物	苔蘚科	鱗翅類	哺乳獸類

右課題ノ物品同好ノ諸君左ノ社員邸ヘ惠賜アランヿヲ冀フ

名古屋區長久寺町十六番邸 石黒濟菴

同區鍋屋町貳番邸 菊池有英

同區本町二十一番邸 內田健之丞

明治十六年一月

交友社出品目錄

明治十五年十月二十九日於三重縣下桑名清水町淨土寺交友社第二回博物會出品目錄

三重縣下桑名宮通り　濱村庄兵衛
和州唐招提寺古瓦　仝桑名南魚町　西村德右衛門
山岡鐵舟公二行書
伊藤博文公七絶
山田顯義公七絶
西郷隆盛七古　仝桑名新町　西村仁兵衛
遠州濱名橋古圖
狩野某氏百鬼夜行圖卷
粟田眞人入唐賜宴圖
古代假面　仝朝明郡川北村　丹波修治
阿利襪樹　盆栽
利檬樹　盆栽
菊花　各種
タウフヤウ
椰樹ノ皮及雄花　豆州小笠原島產
金毛狗脊　支那產
ホクチタケ　信州產
仝　伊賀產
象齒　產地未詳
龍鯉　仝
練鵲寫生
條蟲　酒浸
線蟲　水浸
牡蠣殼　藝州廣島產
介品一百種
クギツチ　伊州伊賀郡上神戸村產
クギイシ　紀州東牟婁郡南部山產
赤鉄鑛　產地未詳
溫知社藥物會品目　仝　丹波誠一郎
金絲菜　勢州度會郡川崎產
タウガラシ各種　仝員辨郡治田新町　岡田正堅
キクバトコロ　腊藥以下同　江州愛知郡御池岳產
ルイヤウボタン　仝
チニスゲ　仝
モミヂ一種　仝
チニスゲ　勢州朝明郡田口新田產
ミチバリ　仝　福尾山產
カンスゝキ　仝員辨郡星川村產
イヌザクラ　仝　山口村產

オホバガシ　仝員辨郡治田山產
コガシ　仝
アカヾシ　仝
木化石　仝桑名郡古野山產
前世界介石ノ圖
古鈴圖　各種　仝　岡田松之助
禾本莎草類六十種
冬桃七顆　勢州員辨郡治田新町產
葉烟草　仝
米利堅種黄蜀葵寫生
洋杏ノ圖
柚橘ノ圖
浦上春琴水墨山水
山本梅逸大古石水仙圖　仝三重郡川北村　川北正則
彫刻山水置物
仝　桑名御坊之景
仝　手箱　仝桑名郡西外面村　中島五平
蕃椒二十種　仝桑名寶殿町　沼波善兵衛
明人祝枝山書卷
景文花鳥双幅
光琳絹本山水
萬古燒開祖沼波弄山肖像弁賛　仝船馬町　佐藤義一郎
鳥羽覺猷僧正勝繪圖卷　仝桑名郡叉木村　妙長寺
火山玻璃　佐州相川郡產
鑛石　仝　仝本願寺村　佐野秋三
タウガラシ各種　勢州桑名郡蓮花寺村產
銀砂　仝　平野喜六
十時梅涯山水大横披二幅
曲玉　仝朝明郡小向村　森有節
イハシヤウブ開花以下同
キク　各種
地楡
鉄捍葛

タムラサウ　城州八幡產
ヲケラ
龍膽　勢州朝明郡小向村產
バイコウハグマ
劉寄奴草一種
シヤボン五顆
カラス介
ヘナツチ
磨砂　仝
雲母　仝
木化石　仝
仝
銀鑛　仝飯高郡飯福田村產
木化石　仝鈴鹿郡鹿伏兎山產
玄猪ノ臼　石州小倉山產
古萬古三兎筆架
仝　赤繪皿
仝　青磁花瓶
仝　菓子器
自製陶器蝙蝠傘ノ柄
トンボダマ　三十種
ガンギダマ
サチタカノ鈴
博物局陶器圖
錦窠翁耋莚誌
丹波氏植物眞影
稻穗　沖縄縣產　愛知縣名古屋伸之町　小塩五郎
昆蟲譜
介譜
鯖魚圖
鰱魚圖　仝長久寺町　石黑濟庵
イハグルミ　尾州春日井郡長久手村產
馬璃　仝　勝川產
石絨　產地未詳
佛頭樣赭石　仝愛知郡下一色村　犬飼庄兵衛
阿膠　各種　支那產
仝　三重縣朝明郡埋縄村　水谷甚右衛門
食用菌類二十種　稻垣半三郎
非食用菌類三十種

明治九丙子年

四方拜	元始祭	新年宴會	孝明天皇祭	新年祭班幣	紀元節	神武天皇祭	神嘗祭	天長節	新嘗祭
一月一日	一月三日	一月五日	一月三十日	二月四日	二月十一日	四月三日	九月十七日	十一月三日	十一月廿三日

日曜表

一月大	二月閏	三月大	四月小	五月大	六月小	七月大	八月大	九月小	十月大	十一月小	十二月大
二日	六日	五日	二日	七日	四日	二日	六日	三日	一日	五日	三日
九日	十三	十二	九日	十四	十一	九日	十三	十日	八日	十二	十日
十六	廿日	十九	十六	廿一	十八	十六	廿日	十七	十五	十九	十七
廿三	廿七	廿六	廿三	廿八	廿五	廿三	廿七	廿四	廿二	廿六	廿四
三十			三十			三十			廿九		三十一

1 SEN 印紙 1 SEN

田中様

官許

仙桃酒婦人之妙藥

それ婦人ハ血を以て主となすが故に身躰の壮健たらんことを欲せバ其血を順環せしむるにあり然るに此藥酒ハ我家の傳法にして第一サフランを以主とし外数種の藥味を加ひ製醸せしものなれバこれを服用する時ハよく氣血をめぐらし精根を補ひ元氣を養ふが故に平生虚弱にして子なき女性も自然と子を設け玉ふまいさらん且産前産後に少し宛用ゆれハ良効あり又乳の不足によし

經閉 帶下 長血 白血 逆血等血の道

効驗ある事妙なり

婦女に限らず虚弱の症 病後の衰弱 虚勞 氣鬱等に用ゐて効能の著しきと神の如し

此藥酒の婦人の身におけるや効驗の妙なるを譬ば崑崙瓊池のほとりに一株の桃あり三千年に一度實を結び西王母これを諸仙に分ち與ふ其實を食ふ者ハ不老不死成と云が如し因て仙桃酒となづく

服用中 酒を飲で不消化の食物を忌べし

本家

越後三嶋郡片貝

大塚氏謹製

明治十六年七月六日

午餐献立

一鷄肉羹　　煎麥玉葱

一油揚䱹　　掛汁白芋

一身抨鷄煎鷄卵　　香艸

一洋酒蒸牛脊肉　　茄子

一牛乳烹雛鷄　　葱菌

一カリー烹犢肉　　飯

一網燒牛肉　　サラト

菓子

一杏入カレーム

飾附

一小菓子及木實

證

勅書壱通

右正ニ落手候也

明治十六年七月七日

元老院

田中議官殿

元老院議官田中芳男殿

明治十六年七月三日

宮内卿徳大寺實則

來ル六日正午十二時御陪食被
仰付候旨　御沙汰候條参内可
有之候此段申入候也

元老院議官田中芳男殿

證

勅書壱通

右正ニ落手候也

明治十八年[illegible]月七日

元老院

田中議官殿

明

有仰來

元老院議官田中芳男殿

秋月

壽泉苔

名産

玆に筑前國下座郡屋永村に泌沸の清泉あり流れて黄金川と云安永年間祖先遠藤共易なる者此水中に一種青紫色の川苔を發見し必す爲わるを察し採り歸つて試驗すると多年にして尚不果其子共氏遺志を續き頗る驗究しく竟に一種の乾製法を發明し得たり依く國守に献そ殊に嘉賞せられて壽泉苔と賜名し國産の一物品に列せらき世々特賣の命を忝ふせり尚幕府に捧け其后ハ續て國産歳時の奉物となれり抑此苔之純薄無害香氣雅淡ゐるを以て酒席茶場花月れ莚雅俗供して嫌なく又遠國餽送携帶土産等に用ひ年を經て變らす甚た適宜便利と雖とも僻地の品物未た全國に普ゐふす然に物産改良の際運に遭ひ種々の別製を精出し京都府博覽會に於て有功の賞牌を賜ひ又内國勸業第一博覽會の審査を經て褒賞を忝ふす於是て益製法を勉勵して又一種の菓子と製し翠雲華と名つく乃ち第二博覽會に列品し且つ公賣と弘む江湖の諸彥愛顧染指わらんとを希望す乃ち製品の用法を左に

壽泉苔幷花形製の用法

一料理上に用ゆるにも先つ清水に三四時間程浸し置其厚さ一分五厘位を度とし適宜に切り用ゆへし又鋏にて自由に切りて浸すもよろし

一吸物酒ひけ燒味ま羮口取置合せの類又さし身酢の物浸し物水れ物等に取合せ或ハそり身に卷き入れ摸樣杯つけ鷄卵に交へ厚燒にし又は味をつけ鷄卵の黄味交せ抔にも宜し香れ物ゐは一時間許り同しく浸し味噌に漬け二三日の後に用ゆ又長く漬置も宜し水菓子には白砂糖をかけ用ゆ總て水に浸したる後は熱湯をゐけ用ゆるを宜しとす

浪の花製用法

一大概壽泉苔と用法同しけれ共其製薄すけれハ水は浸さす只湯にて洗ひ直ちに用ひ甚輕便なり又火にて焙り醬油にて食すもよし

生苔鹽漬の用法

一是ハ製法せさる乃ち水中生の儘と鹽藏したる物にていつ迄も變るとゐし熱湯を一兩度灌けハ鹽氣ぬけく全く生苔なり三杯酢刺身類置合せ又ハ露物等何れも宜ろし

翠雲華

一是ハ生苔砂糖漬の菓子也茶席は勿論是も梅肉紫蘇或櫻漬等に取交せ熱湯をつぎ入き吸物に代用す夏時氷塊に和し用ゆきは尤妙ゐり

此外料理上種々採用ひて甚た雅品也其大畧を記して愛顧の諸彥に申告す

福岡縣筑前國秋月

製造本舗　遠藤喜三右衛門敬白

大取次　東京々橋區越前堀二丁目六番地　富川太三代　倉茂喜兵衛

御用御方樣右御入車希願

覺

一　紙包　一個

一　此書　一通

右慥[illegible]

七月八日

[illegible] 印

[illegible]

[illegible]

イキス効用説明廣告

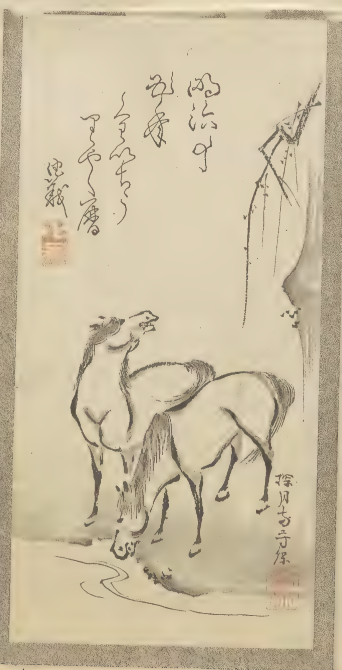
此イギス味噌漬ニシテ第一効能ハ婦人産后ノ腹痛シ下痢スルヲ止メ脾胃ヲ養フル即効アリ數々實驗スルニ百中百的其効著キコ妙ナリ其外調理百出沙糖練醬油漬胡麻味噌ア ヘ酢味噌等恒ニ坐右ニ置テ酒饌ノ料トシ膳具茶菓子等色々アリ生ノ海艸ハ水ニテ洗ヒ・サシ身ノ具トナル己上調理種々アリ實・ニ廉價ニシテ經濟上ノ便利坐右ニ置テ下婢ヲ勞セス大ナル重法ナリ

醸造本舗

[illegible]

醸造本舗

[illegible]



年數早見

子	延享 甲	六 丙	五 戊	九 庚	四 壬	文化 甲	十三 丙	十一 戊	十一 庚	五 壬	元治 甲	九 丙
丑	二 乙	七 丁	六 己	天明 辛	五 癸	二 乙	十四 丁	十二 己	十二 辛	六 癸	慶應 乙	十 丁
寅	三 丙	八 戊	七 庚	二 壬	六 甲	三 丙	文政 戊	天保 庚	十三 壬	安政 甲	二 丙	十一 戊
卯	四 丁	九 己	八 辛	三 癸	七 乙	四 丁	二 己	二 辛	十四 癸	二 乙	三 丁	十二 己
辰	寛延 戊	十 庚	安永 壬	四 甲	八 丙	五 戊	三 庚	三 壬	弘化 甲	三 丙	明治 戊	十三 庚
巳	二 己	十一 辛	二 癸	五 乙	九 丁	六 己	四 辛	四 癸	二 乙	四 丁	二 己	十四 辛
午	三 庚	十二 壬	三 甲	六 丙	十 戊	七 庚	五 壬	五 甲	三 丙	五 戊	三 庚	十五 壬
未	宝暦 辛	十三 癸	四 乙	七 丁	十一 己	八 辛	六 癸	六 乙	四 丁	六 己	四 辛	
申	二 壬	明和 甲	五 丙	八 戊	十二 庚	九 壬	七 甲	七 丙	嘉永 戊	萬延 庚	五 壬	
酉	三 癸	二 乙	六 丁	寛政 己	享和 辛	十 癸	八 乙	八 丁	二 己	文久 辛	六 癸	
戌	四 甲	三 丙	七 戊	二 庚	二 壬	十一 甲	九 丙	九 戊	三 庚	二 壬	七 甲	
亥	五 乙	四 丁	八 己	三 辛	三 癸	十二 乙	十 丁	十 己	四 辛	三 癸	八 乙	

中村月嶺銅刻
東京南傳馬町壹丁目九番地

第五号

七年 入

佐吉 吉川 稲治

佐吉 吉川 稲治

佐吉 吉川 長平

佐吉 吉川 可平

當所名産
日本一家 孫太郎虫功能

抑孫太郎虫と云ハ當所に鎮座まします田村神社の冥慮をもつて採り出し吉端の方にて用ゐられ功能極て妙なる事ハ弘く世間に流布て諸人の知る所なり神徳の然らしむる所ならん小児の疳ハ五かんよりおこるものなれバ疳の病を退ぞけ驚風その外虫氣の病にハ一匹づゝ用ゐれバ胃腸をととのへ元氣をましその外虫の病を治すること妙なり大人小児ともに虫一切を治するものなり

用法 すけ(?)しからぬ大人ハ一日一匹十才以下ハ五ッ見計(?)て用ゐ虫氣の強き時ハ味噌汁に入れて用ゐても害なし

磐城國刈田郡齋川虫會社 佐藤治平

証

一 金三十 月謝

一 金 月俸 塾費

〆

右確ニ取受候也

九月廿七日 知新學舎

褒状賞牌
上野廣小路
東京
御菓子調進所
岡埜謹製

肥料兼虫害驅除ニ良品販賣弘告

一 櫻灰

ひろめ中現品壹千石限り
代金壹圓ニ付正味貳石替

但壹十石販賣後ハ時價を以て賣上可申と雖も千鰯油糟下肥等の如き高直ハ必そなるましくなり

○右櫻灰ハ田植に先たちて施せバ地を温め稻草植こまりせざことに虫害をふせぐ又耕耘の時に施して稻草を能く生育し稻虫を除きひるも其外の悪草を枯ぞ事奇妙なり

○前年虫害ありし水田にハ立春後諸虫初生の頃より施せバ虫の卵種を消滅し其年虫害ある事なし

但蛭、蛙、田にし、魚類も斃するなれバ魚類を養ひ育る場所へハ用ひざるべし

○總て苗物を仕立る床土にさやく櫻灰を混和し蒸置て種子を下せバ虫卵を減し床を温め生育さやしといふ

○茶園、果物、菜蔬類の陸田肥料によろしく且藥むし根虫の生せし時施して速に其害を除く最も妙なり

○糞溜桶に虫の生する頃時々投入すれハ其虫即時に斃し腐廢して肥力を増す又悪臭を除く是又妙なり

○綠豆、そらまめ、挨、茅、刈草、木葉、藁等の雜物を肥料に供する地方まてこれを交ひて施せハ有形雜物をはやく朽腐し肥力を助るのみならず耕耘に便ならしむ

但田圃肥料用法心得を簡單に說明そるも猶一朝の言に盡す能ハすといへとも一に物品を問ハす時々異品を交々用ゆるを良とんふ其謂ハ人の食物と雖も佳肴高味も常食と成てハ其美味を覺ひさるも時々珍物を食すれハ風味最佳なる〻同理なり又用量の如きハ同地方にても甲乙同等ならす既に一畝の田圃中にも日向と日蔭によりて何分の注意なからざるべし故に豫め確定し難しと雖も此櫻灰ハ大略壹反に付壹石より壹石五斗位を根肥と上ハ肥に施して適度なるべし余ハ精農家の注意を乞ふ併水田に水多き時ハ効薄し又陸田に水氣薄き時ハ水に和する肥料をよしといふ

施しやう

○此櫻灰ハ悪虫を驅除そるにハ水氣なき方効つよし然きとも成べく異芽に多くかゝらぬ樣注意すべし外ハ少しあめらし風に飛ちらざる程にして施すべく畑にハ水に和し用ゆるもよし

右ハ農學士及ひ老農者の說と自ら經驗し而して疑わざるものを記載す依て官の試驗を經たるものを左に記載す宜く參考あらん事を希る

灰質試驗願

○ 櫻灰

但 此原質ハ貝類ト有烟無烟石炭類ノ灰ヘ松木灰ノ混合シタルモノナリ其赤色アルヲ以テ俗ニ櫻灰或ハ桃色灰等唱ヒ來リシモノナリ

右ハ貝灰製造ノ廢物ニ無烟石炭及ヒ瓦斯売又コークス等ヲ用ユ以テ其品類ノ灰ヲ除カサレハ正灰ノ色ヲ損ス故ニ燒キ上ケタル貝ヲ粉ニセサル前ニ篩ニ掛ケ其悪灰ヲ揮ヒ拔キタルモノナリ從前ハ水田ノ肥養ニ供シ又ハ屋根壁ノ下塗等ニ用ヒ言ハヽ屑灰ナリ然レ圧水田ニ散布稻草ヲ肥シ浮草ヲ腐爛セシメ滑虫ヲ驅除ス其他兩便所ヘ散布シテ[illegible]ク蝍蛆ヲ殺シ臭氣ヲ防ク等ハ粗相試ミルニ實効アルモノニ之レアリ然ニ本年夏大ニ虫害ヲ生シタル多數ノ稻田ヘ散布試ミシニ四五日間ニシテ稻虫悉ク驅除シ隨テ稻草殊ノ外立直リ既ニ此節出穗ノ稻勢宜シキヲ實見ス右ニ付思考スルニ通常肥養物ニ代價相當ノ効アル該灰ニシテ輿ニ稻田虫害驅除ノ實効アルモノナレハ何分ノ世益ヲ補フモノト奉存候間何卒右灰質分析試驗被成下度現品相添此段奉願候也

明治十五年九月十五日
日本橋區村松町十三番地
岩浪長藏 印

東京府知事芳川顯正殿

右願ニ付奥印候也
東京府日本橋區長中山孝歷 印

朱書
第千百二十三號
書面願ノ趣ニ依リ別紙分析書下付候事
明治十六年一月廿九日 東京府知事芳川顯正 御印

|割御印|

櫻灰ノ解說

櫻灰分析表

水分 驗温器百度ノ熱ニテ飛散シタルモノ	五、九五
不溶解分	一三、四七
酸化鐵及礬土	四、四五
燐酸	一、〇六
硫酸	〇、一三
鹽素	〇、〇六
石灰	四九、九四
炭酸	二〇、二一
剝多亞斯	二、一六
曹達及未詳分	二、五〇
合計	一〇〇、〇〇

此表ニ據テ其性質ヲ考ルニ肥料トナルヘキ元質ハ石灰ニシテ其形狀ニ樣アリ一ハ生石灰ノ形ヲ成シ一ハ炭酸化合体（炭酸石灰ニシテ二五、五ノ割合ナリ）ノ形ヲ成ス而シテ燐酸及ヒ剝多亞斯ノ量甚タ多カラサルハ松樹灰ヲ混入スル量少ナキニ由ル故ニ其効力ハ牡蠣灰ノ過量ナルニ在ルナリ左ニ松樹灰及ヒ牡蠣灰成分ノ量ヲ比較シテ之ヲ證明ス

	燐酸	石灰	剝多亞斯
松樹灰	四、五	三五、〇	二、八〇
牡蠣灰	〇、七	五二、六	〇、三

櫻灰ノ効用ハ主トシテ多量ノ石灰分アルニ由ルモノニシテ其成分ハ毫モ石灰肥ニ異ナルコナキカ如シ而シテ其石灰ノ効能タル土中ノ有機分ヲシテ腐熟分解セシメ及ヒ其分解中ニ游雜セル有害酸類ヲシテ中和性ニ變セシメ且岩石体中無機養料ヲ分離力ヲ助ケテ善良ナル体質ニ化性セシメ以テ植物ヲシテ之ヲ吸收スルニ便セシム以上述フル所ハ間接ノ効能トス直接ノ効能ニ至テハ最大ニシテ例ハ武州地方ノ如キ石灰ノ量極メテ少ナキ土質ニ施セハ大ニ植物ノ發生ヲ助ケ且害草ノ種實及ヒ害蟲ノ卵種、蝸蠕（ヌマゴスクモムシ）等ヲ消滅スルノ能アリ然レ圧櫻灰及石灰ノ如キハ種實ノ發育ニ有害ナル生石灰分ヲ含有セルモノナルヲ以テ之ヲ施スニ宜ク播種（タネマキ）ニ先チテ撒布シ丁寧ニ土壤（ツチコヱツチ）ト混和スヘシ而シテ之ヲ撒布スルニハ能ク破碎（クダク）シテ充分細末トナスヲ要ス但此品ハ細末ナルヲ以テ直ニ用ウルコヲ得ヘシ

博士 チスカー、ケルチル氏解說
佐々木善次郎 分析 幷 譯

右ハ東京府廳より農商務省農務局へ進達の上農學教師の分析試驗相濟みし解說なれバ疑ふ可からざるものなり之れ以て察るも前文に謂ふ吾自試するもの及ひ農學士或ハ老農の說又疑ふ處なし尤とも種實の發育に害ある生石灰の質分を少しく含みあるにも拘ハらす悪蟲の卵種蝸蠕等を消滅し悪草をからし岩石体中に含む肥養質まてを分離する程の効力あるものなれハ或ハ初生の苗物又ハ性質の弱き植物の新芽に施すときハ宜く注意を要すべし

日本橋區兩國村松町十三番地 岩浪長藏
販賣所 南葛飾郡深川出村九番地 岩浪製造所

乾海苔同貯味海苔松葉海苔販賣廣告

乾海苔分析表

百「ガラム」中	
植物性膠素及少量ノ繊維素	六十八 二六「ガラム」
「エーテル」中へ溶解セシ物質紫緑及赤色素	二四一三「ガラム」
灰分	十一 六一○「ガラム」
水分	十七 八六二「ガラム」

乾海苔灰分分析

酸	塩基
硫酸 燐酸 炭酸 硝酸 珪酸	石灰 苦土 礬土 ナトロン 加里 鐵痕跡

紫菜ハ皇國の名産植物海苔類中の一種にて諸府縣ハ諸處より多く産出すと雖とも我東京府下品海の産を往古浅草辺ニて専ら製出せしを以て浅草海苔の称呼後世に傳はまり以て概して第一等の地位を占むる物とは抑も紫菜ハ植物營養中の食料に充てゝ最も滋養の性質効分に富めるハ之を衆に贅せされとも生採収の時と製造とに因りて精善粗悪の差異ある八僅少なれは殆んと雲泥の如し枚挙に暇あらす今予か家蓄ふ處の紫菜ハ生採収の時節と製造とを選擇精撰するに依り品物の良好なるハ世上の高評を博ふを實なり就て明治十四年東京大学醫学部へ依頼し紫菜の分析を請求して愈人間の食料に充て滋養物たるの證表得られハ即ち別紙に掲載して四方の諸君に告示はし且從来海苔を商ふ家々數多あるも祖先代々我蓄へ物品の食料として如何なる効害ある乎を證せは斯る一時の時運に遭逢して我蓄へ物品の効害を志らして可ならん歟と予單志奮勵して是分析を得るに至り始めて人間食料として滋養の効分あることを知れり狡猾世を欺くの自負に非さる也依て家業を益盛大に致さんと欲し工夫を凝らし新發明の貯味紫菜に至りては其甘美なると梅首の季作にも其質を變せは世間の味付海苔ハ七種唐辛子を用ゆる故に婦人幼児に大なる害を醸すと雖尚又發明の松葉紫菜と称するハ永く貯て年を経るとも変して其味を変せは依て海陸の旅行或湯治場行の餞別土産物にハ至極種便にして殊味の良品なるが故に普く江湖の揚采を営況して紫菜ハ滋養の効分許多なる物なれハ嗜好の君子ハ精良の品を以て調理の適當とゆるへハ香味益甘美に加へに至れハ各君須浸意の工夫調理を仰くに在節

西洋人の分析並勧農局試驗且大学醫学部の分析表を別紙に記載して以て其滋養効分を廣示す

乾海苔分析表

東京府下日本橋區
本船町拾九番地
乾海苔問屋 川島藤兵衛

定価 三拾銭

千簾麸

大塚製

東海名産

無雙別品

千

東京神田旅籠町三丁目

御千海苔

紙油商 栁屋專之助

大日本摂津大阪道頓堀

別製 鯛菓餅

十六年六月九日

郵便 ……百枚

名産 本家

吉野山香雪堂

吉野葛 同

櫻菓子所

楠田亀蔵製

三品威仁親王幷御息所來ル十二日
午後第八時三十分ヨリ延遼館ニ於
テ夜會被相催候間御來臨被下度旨
兩殿下ノ命ニ因リ御案内申進候也

明治十六年七月六日

有栖川宮御附
從六位藤井希璞

田中議官殿
令夫人

第二内國勸業博覽會有功三賞牌賜
十四年京都府博覽會有功銀賞牌賜

官許除毒 御紙巻製法

一煙草ハ内國産を撰佛國ふ倣ひ脂戊抜煙毒を去り府廳ル試驗を得製造す
右ハ内國在来の生葉に非ず
一巻く器械ハ洋形改良社製
右ハ日本在来のクダヅメよ非ず
一巻く紙ハ本紙ふして生紙也
右の印え在来乃銅版よ污し次
一口紙ハ内國製本紙なり
右ハ在来の眉紙りあらず

右之通調進美良ふして他乃クダヅメ又ハ袋粉巻煙草なる粗製のあらぶ所なりあらば功能ハ廣告よ〔illegible〕

東京本所區緑町四丁目

御用調進所 明煙社

前書之通第二回博覧會出品仕候處猶一層美良ヲ製シ廉價ヲ以テ大賣弘度江湖の諸君不相替御購求を希ふ
明治十四年七月

香味花葉
比巻紙必
用称
岩瀬良[illegible]

規則

一 診察日 半日 丁日 淺草區向柳原町一丁目卅九番地 本宅 日 日 下谷區上野櫻木町壹番地 鶯溪醫院
但シ大ノ月ハ卅一日ヲ以テ休日トス

一 診察調合共午前第十一時限リノ事
但シ急病ハ此限ニ非ス

一 宅診察料 各位御隨意ノ事

一 往診料 五拾錢ヨリ少カラズ
但シ遠隔ノ地及ヒ時間ヲ多ク費スキハ此限ニアラス

一 手術料 施術ノ難易ニ由リテ差異アリ

一 代診ノ者往診料ハ各位御隨意ト雖ㇳ道路ノ遠近ニ由リ相當ノ車代御差出シアルヘシ

藥價

一 水藥 一日分 七錢

一 丸散藥 一包 二錢

一 泡劑 一包 二錢

一 點眼藥 一瓶 六錢

一 外用藥 二錢ヨリ十五錢マデ

一 頓服藥其他臨時諸藥ハ價不定

一 藥價ハ都テ即謝ノ事
但シ請取証ニハ青色ノ印ヲ捺シ差出可申候

右之通規則改正候ニ付御承知之上ハ治療致シ可申候也

明治十五年一月

高松凌雲

入院規則

入院患者ハ其本籍を記し引受人之證書を出すべし
但し引受人ハ東京住居之者ニ限リ入院之節同道すべし
病室費ハ藥餌其他一切之入費として壱人ニ付一日金四
拾錢ト定む尤夜具ハ持参之事
但し一室備切ニ致度者ハ室之廣狭ニよつて一日金五拾
錢より金六拾錢を出すべし
室内看護婦を置き又ハ食物等別段ニ雇切ニ
致度者ハ壱人ニ付一日金拾五錢を出すべし
附添人ある時ハ一日金拾五錢之食料を出すべし
院内患者ハ朝夕診察し且常置醫員をして臨時診察
せしむべし
毎月十五日卅日を會計日と定め當日必ず入費を出す
べし

月 日

下谷區上野櫻木町壹番地
鶯溪醫院

廣島縣授産所製

山繭紬

廣島織

搬出證

一 [illegible]

山[illegible] 委員

右搬出差許候也

明治十六年四月廿日

水產博覽會事務所

[illegible]

十六年 水產博覧会場内

割烹家

両國

[illegible]

青柳

一獸肉魚肉及野菜類鑵詰
一瓶詰酒類及和洋銘酒并賣
一西洋小間物及薄記用インキ品々
右各新珍ノ製造品等取集メ弊舗ニ於テ賣捌候間多少ニ係ラス御求メ可被下候御旅行御船中ノ御用意并遠國御土産等ニ至極軽便ニシテ腐敗ノ憂無之御試ノ上御懇意ノ御方々江御吹聽相願候也
但十個以上多數ニ御求メ被下候得者相當ノ割引ヲ以御相談可仕候也

神田區淡路町壹丁目壱番地

松茸水煮鑵詰
牛肉吾妻煮
本舗 笛遖家

興農競馬大會
東京三田育種場
本會前後
上等
觀覽證
興農競馬會社

小町紅

御誂

御召廣巾尺

奈良曝布

織元極吟味

雁皮紙

團扇

東京日本橋 榛原直次郎

本家
みゑいどう
東京本町壹丁目
小泉五郎兵衛

壹 等 賞

御袙扇　式紙短冊
御舞扇　御夏扇
御檜扇　御軍扇
御末廣　御踊扇
御中啓　御名古屋扇
御雪洞　御帖諸品

各國向扇子品々

其他御進物諸品御好次第製
造方精々入念廉價ニ勉強
奉差上候

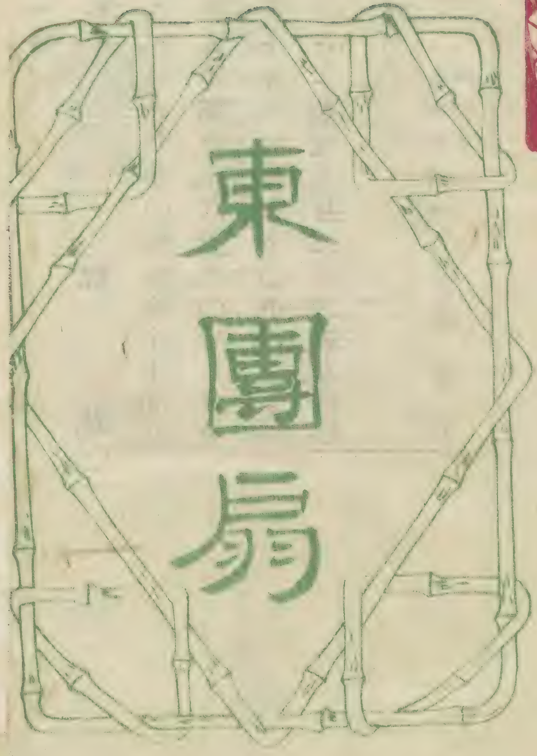
官許
和漢中風藥王
中風不發用心藥
中風御様之妙藥

董玉齋

本舗所製之香昔董玉初船来所授予家祖之奇秘故名董琢齋其制不用汚物邪品然近偽造者不少請恵顧君子須認性名辨真偽

浪花 百舌軒主人謹白

右小竹先生之遺印也



上野廣小路

岡埜 謹製

國益の親玉

なんでも交換辯理賣買所

東京銀座三丁目十番地　岩谷松平　敬白

抑我政府ニ於テ勸業博覽會及共進會等ノ盛擧アルハ商工農上頗ル其共進ヲ奬勵セラル、ノ趣旨ニシテ人民モ亦其精巧ヲ極メ相競フテ品物ヲ陳列シ販賣購求共ニ隨意ナルニ似タレモ開會ノ日ニ限アレハ外國ハ勿論日本各縣ヨリ物品ヲ要求セントスルモ之レカ弁用ノ路ナクシテ有志者ノ遺憾トスル所ナリ然ラハ平素殊別ニ出店ヲ搆ヘ置カンカ許多ノ失費ヲ要シ若干ノ人員ヲ雇使セザル可ラス假令店規完全ナルモ其雇人ニ適當ノ者ヲ得ザレハ朝ニ開キ夕ニ閉シルカ如キ其例亦少ヽナラス且西洋及日本各地ニ隔在シ遙ニ東京ノ製產物ヲ商賣用ニ仕入ント欲シ弁利滊船ニ乘シ出掛ントスルモ留守居ノナキト往復ノ雜費ト時日ノ消費ト発ルヘカラサルハ論ヲ俟タス然ラハ電郵ヲ以テ購求セントスルモ品位ノ精粗價格ノ高低風土人情ニ隨ヒ向不向等綿密ニ調査セズンハ使用品ハ勿論商賣品ニ於テ終ニ販賣ノ路ヲ絕チ家產ヲ傾クルノ不幸ニ陷ラントス豈嘆スヘキコナラスヤ依テ弊商松平不肖ト雖モ左記ノ定欵ニ因リなんでも交商弁理賣買所ヲ設立シ甲地ノ人ニシテ其營業品ヲ東京ニ賣捌カントセハ弊舗之レヲ引受ケ廣ク販賣シ又甲地ノ人自己ニ要スル物品ヲ東京ニ購求セントセハ又弊舗引キ受ケ之レヲ送附シ又物品ノ交換ヲモナスヘシ而シテ弊商ノ丹誠ニヨリ大方有志ノ愛顧ヲ得萬物賣買陸續御委托アルニ於テハ卒ニ東京銀坐ノ薩摩屋ハ日本物ハ勿論外國品トモ賣買自由ニ交商スル辨理店ナリトノ名聲ヲ江湖ニ博スルニ至ランカ其レ此ノ場合ニ達スル片ハ僻地ノ物品ヲシテ販賣ノ路ヲ隆盛ナラシメ且品位麁造ニ係ルモノハ之レカ改良ノ方法ヲ荷主諸君ヘ懇ニ忠告シ彼我ノ物產ヲシテ善美ニ達セシメ賣買ノ區域ヲ擴張スルニ於テハ啻ニ御互ノ幸福ノミナラス實ニ國家ノ公益ナリ請フ各地有志ノ諸君不肖松平カ商估社會ノ爲ニ盡ス可キ義務ナルコヲ察知セラレ同感ノ諸君ハ速ニ比隣合壁ノ近接ニ於テ開カル、モ敢テ辭セス是松平カ國家ノ公益ヲ獨リ專有セサル所以ノ微意ナレハ共ニ倶ニ此業ヲ競ヒ邦國ノ基本タル商估世界ニ活潑ノ運動ヲ與ヘ隨テ工農ヲ鞭策シ國家萬一ノ裨益ニ供セントス是レ松平カ多年雜商ニシテ爰ニなんでも交商辨理賣買所ヲ起ス所以ノ素志ナリ伏テ望ム有志ノ諸君萬物賣買續々御委托アランコヲ希望仕候也

規約條目

第一條、本目ハ何品ヲ問ハス交換辨理賣買ヲナスモノトス

第二條　東京各店ノ反布小間物書籍賣藥活版家具船具其他何品ニ限ラス各地方ノ求メニ應シ弊店引受精品安價ヲ以テ買求シ該店ノ勘定目錄ト現品ト共ニ遞送スヘキニ付各品御求メノ諸君ハ其品位價格等豫テ御照會ノ上該代金ハ郵便及銀行爲換ヲ以テ御送付相成ルヘシ　但前金ニ非サレバ品物ヲ遞送セサルベシ

第三條　各地ノ物產東京ニ於テ卸賣ナシタキ諸君アラハ其望ニ應シ弊舗引受廣ク販賣ヲナスヘシ

第四條　物產見本品ヲ以テ賣買ノ前約等ヲナスヘシ其前約ニ至ツテハ証據金トシテ商金高之壹割宛双方ヨリ預リ置キ其違約ニ係ル人ハ定約ヲ履行シタル方ヘ悉皆相渡シ約濟トナスヘシ

第五條　各地ノ物產東京ニ於テ小賣捌タキ有志諸君アラハ其望ニ應シ弊店ニ引受小賣ヲナスヘシ其品賣價ニ至テハ荷主ト商議ノ上精實ナル正札ヲ現品ニ付着スベシ

第六條　小賣品ハ其荷主ノ商標或ハ薩广屋ノ送品ナレハ薩何十番何圓ト現品ヘ正札ヲ付シ同樣記載シタル帳簿荷主ヘ送付シ該賣金ハ十五日或ハ三十日ニ郵便及電信爲替ヲ以テ送附スル等荷主ノ隨意タルベシ又該帳簿御持參何時成モ現品御撿査ノ上賣品ハ現金速ニ差立殘品ハ御引取相成モ荷主諸君ノ勝手タルヘシ

第七條　前數條ノ運搬荷造其他ノ費ハ悉皆荷主ノ關係其外手數料ハ當分ノ內○賣買高壹圓以上拾圓以下四分○同拾圓以上百圓以下三分○同百圓以上五百圓以下二分○同五百圓以上壹分半即壹圓ニ付壹錢五厘ノ割　但引續キ御委托アルニ於テハ追々改正スルコモアルベシ○弊舗ニ備ヘアル賣品ニ限リ購客ノ手數ヲ不申受候

第八條　小賣品手數料ハ第七條ノ限ニアラズ荷物ニ應シ荷主諸君ト豫メ約定シ置クヘシ

第九條　各地ヨリ物產委托荷物ヲ一ト纒メニシテ遞送スベキ手續ハ各地同志者ト豫テ盟約シ置キ追テ其姓名ヲ報ズベシ

第十條　前數條ハ都鄙居ナカラ永遠ノ幸福ヲ計ルノ良法ニメ普通商業ノ如ク御互ニ掛引ヲナサズ諸事鄭重ヲ旨トスベシ

第十一條　荷物預中弊店ハ煉化家屋ナルヲ以テ火災等ノ患無之筈ナレモ萬一災害ニ罹リ候節ハ預品ト雖モ之ヲ償却セス

薩摩かすり○同上布○紬○芭蕉布○大和縮○久留米縮○筑前博多帶地○同絞○國分指宿出水烟草○葉巻○紙巻刻○鰹節○鰹煎○鰹塩辛○薩摩酒○薩摩すのり○琉球泡盛○塩豚○堆朱菓子皿○うき粉○尾州醬油○三ッ石昆布○唐胡椒○芥子粉○解芥子○芥子漬○消毒丸○菊油丹○子宮鎭痙女寶散○菊油○寶丹○寶丹水○速下丸○胃散○吸毒錠○明治水○明治膏○明治露○無臭肝油飴○不可飲○清婦湯○清婦水○清心丹○愛花錠○神令水○蒼生膏○麝香丹○回生油○金明膏○延齡丸○金匱救命丸○人參龍王和順湯○强壯日新丸○通じの振出し○貴眞膏○千金丹○精錡水○藥しやぼん○玉兎膏○補養丸○鎭溜飲○穩通丸○鐵飴煎○潤肺露○鎭痙水○發汗散○大効藥○ビツトル○濃厚ビツトル○ビツトル散○ビツトル丸○實母散○靈壽圓○治淋散○回湯丹○キンドル散○神液○利水散○神藥○清邪散○引風の振り出し

東京々橋區新肴町理美流亭國米活版局印行

○延寶八年庚申四月開舗　○明治十三年庚辰四月改正

和漢洋藥種製煉物繪之具染草類各種

伽羅沈香煉香線香五種香薫物類各種

起死回生 **寶丹** 小包 定價 金七錢五厘
○文久貳年新發明の良劑よして方今大ひよ潮海よ流布し其効驗の著明あること普く世上の亮知せらるゝ所あり

養生神劑 **速下丸** 小袋 定價 金三錢
○第一のぼせを引下げりういん酒毒をくだす妙藥よしてまた婦人血症および癇症の人用ひて大ひに良効あり

起死回生 **寶丹水** 小瓶 定價 金六錢
○効能大概寶丹よ同じくかつ水劑なるを以て急症に臨んで大んよ服しやそしまた四季の感冒よ用ひて奇効あり

起死回生 **寶丹錠** 小包 定價 金六錢
○効能又寶丹ふ同じくりつ錠製あるを以てよく佳香を保ち別して咳逆いでまたれ虫歯の痛みに用ひて良効あり

經驗奇方 **寶丹膏** 壹貝 定價 金貳錢
○効能第一金瘡すりこわし湯火傷皸すれ鼻緒剝ひゞわかぎれ耳の痛鼻の中の腫物等總て外患よ用ひて奇効あり

本方別製 **奇應丸** 小包 定價 金五錢
○大人小兒一切諸症の良劑にして効用世人の知る所今此本方奇應丸ハ藥品吟味調製そるを以て効能最も速あり

牛黄 **壽星丸** 小包 定價 金貳錢五厘
○効能第一氣つけ○五疳○驚風○虫氣○乳吐○ものはたり又ハ麻疹とう總て小兒一切の病ひに用ひて頗る妙効あり

懷中良劑 **紫金丸** 小包 定價 金貳錢五厘
○効能第一鬱氣を開き諸毒を解し又船車酒の酔よ用ひて奇効ありゆへよ酒客常々懷中に欠べあらざる良劑なり

守田家方 **龍王湯** 壹包 定價 金貳錢
○婦人血の道一切の妙藥ふして打撲くぢきに奇効あり又別製サフラン入龍王湯ハ効能一際相すぐれこれあり候

四季通用 **和中飲** 壹貼 定價 金貳錢
○効能第一四季の感冒○頭痛○眩暈○食傷○霍亂○中寒○酒害またハ痢疾○泄瀉○疝痢とうよ用ひて大ひに良効あり

經驗奇方 **建中散** 壹貼 定價 金壹錢五厘
○効能大概和中飲よ同じく分て中暑霍亂疝痢胸腹の痛よ奇効あり且旅中の御用意藥にハ至極重寶よ御座候

守田家方 **齊性丹** 小半劑 定價 金六錢
○効能第一たんせき喘息の妙藥にしくさんよて胸のうちいたみまたハ肩より脇腹痛とうの症ふ用ひて奇効あり

經驗新方 **立効丸** 壹劑 定價 金六錢
○たんせきのしやぶり藥にてせきつよくいで夜寐りぬる症よよしまた車を引き道を走人含みて息きゝるとなし

守田家方 **神惠散** 壹廻り 定價 金拾錢
○せんき寸白の妙藥にして腰痛ひきつり歩み難くあるひハ癪聚またハ下痢疝痢等よ用ひて大ひふ妙効あり

奇方 **凍瘡水** 壹瓶 定價 金四錢
○第一しもやけの妙藥よして又胝水虫よ奇効ありゆへにろの患所へ貼る時は苦を忘れ能く治すること妙あり

懷中良劑 **よろ花** 壹包 定價 金三錢
○此錠は鬱を散じ口中を清くし胸をそのしてよく音聲を清くし船車酒の酔をさゝろよくそ其他効用頗る多し

右の藥劑ハ中におよばず此外家製の妙藥數多これあり何れも藥品精撰調製方一層丹誠仕候あいだ効用必ず相勝れ可有之候且御用向の節ハ御病症ふ的應の良劑を相撰み可奉差上候間よろしく御試驗奉願上候且また藥種類ハ勿論香具繪具其他總て精々吟味の上家業向別して出精念入可奉差上候○万一品物よろしからずい歟又ハ他家より高直の儀も有之候ハゞ其段仰聞られたく品物早速御引換何れにも御用辨可仕候間何卒諸君幸ひに御愛顧の程偏よ奉伏冀候也

官許 **寶丹本舗** 東京府管下下谷區池之端仲町貳拾七號所有地 守田治兵衛再拜 敬白

附言 弊店義延寶八年創業以來當九世の春秋經過を保ち且先年寶丹發明後ハ別して諸君の御愛顧を蒙り漸次隆盛ふ赴き候段實よ感銘の至よ奉存い就てハ自然店頭に於て御客樣方御來會の際失禮の廉有之候てハ甚だ以て奉恐入候ニ付今般洋藥舗を向側へ取設け洋醫師方の處方書を以て調合仕候藥劑および化學用藥品ならびに金銀滅金用藥品其他西洋藥種西洋繪具染粉等一切此分店に於て取扱ひ申候間御用向のせつハ該分店へ被仰付度最も劇毒藥の義ハ兼て御布告の通り

東京銀座貳丁目○守田寶丹活版所○芳譚雜誌愛善社印行

（毎日相場附）　蠣売町壹丁目三番地　編輯兼印刷　篠田□□

（定時刊行）明治十五年六月六日（第四拾四號）

舊四月廿一日　ひのへ　子　正午寒暖　七十二度　火曜日

正米出來物

（金壹圓ニ付）

一江刺本石	壹斗三舛〇
一本穀中俵	壹斗三舛三合
一同大俵	壹斗三舛四合
一一志郡米	壹斗二舛〇
一俵印米	壹斗貳舛一合
一中國米	壹斗一舛五合
一越後米	壹斗二舛一合五夕
一土浦米	壹斗壹舛七合五夕

蠣売町米商會所定期米立直段

○昨帳引後四十七八錢ｶ、七錢、ノ大とん

今朝寄附（午前八時）

○六月期　出來不申
○七月期　出來不申
○八月期　八圓五十壹錢ｶ、壹貳錢、一錢、五十錢五厘、五拾錢、壹錢、一二錢、貳錢、二三錢、三錢、三四錢、三錢、四錢、四五錢、四錢、の前場

前場（午前十時）

○六月期　八圓也、○一錢、二錢、三錢、四錢、三錢引
　平均　八圓○二錢
○七月期　八圓卅三錢、壹錢、貳錢、壹錢、二錢、壹錢、卅錢、壹錢、卅錢、一錢、卅錢、一錢引
　平均　八圓二拾壹錢
○八月期　八圓五拾四錢、三錢、四錢、三錢、四錢、三錢、四錢、三錢、四錢、引
　平均　八圓五拾四錢

跡五十三錢ｶ、貳三錢、三錢、二三錢、三錢、三四錢、四錢、

○（後場寄附）（午後十二時卅分）
○八月期　八圓五拾四錢

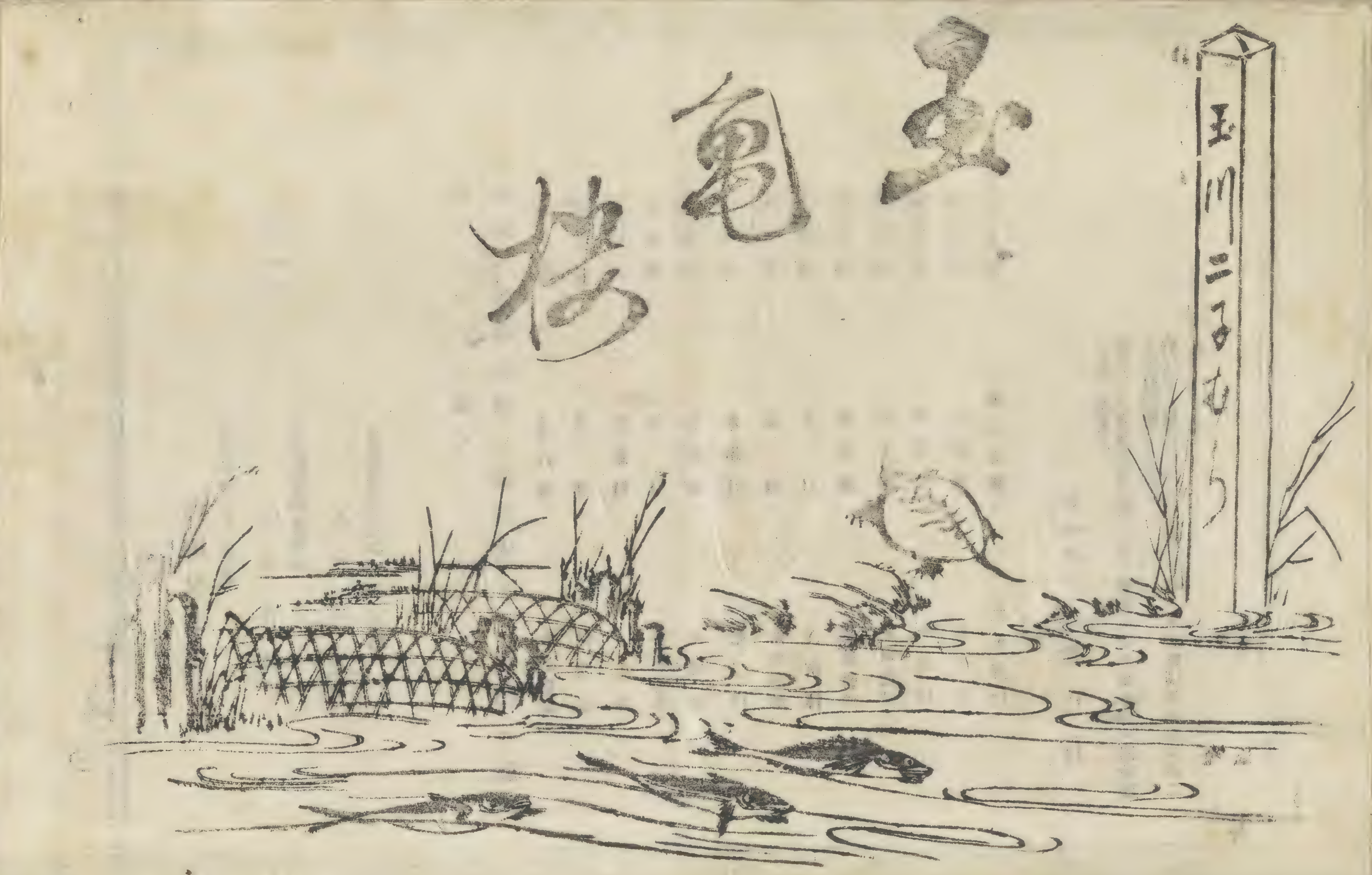
後場（午後二時）

○六月期　八圓○三錢、四錢、三錢引
　平均　八圓○三錢
○七月期八圓卅錢、一錢、卅錢、一錢、卅錢、一錢卅錢一錢卅錢壹錢卅錢引　平均八圓卅錢
○八月期　八圓五拾四錢、三錢、四錢、引
　平均　八圓五拾四錢

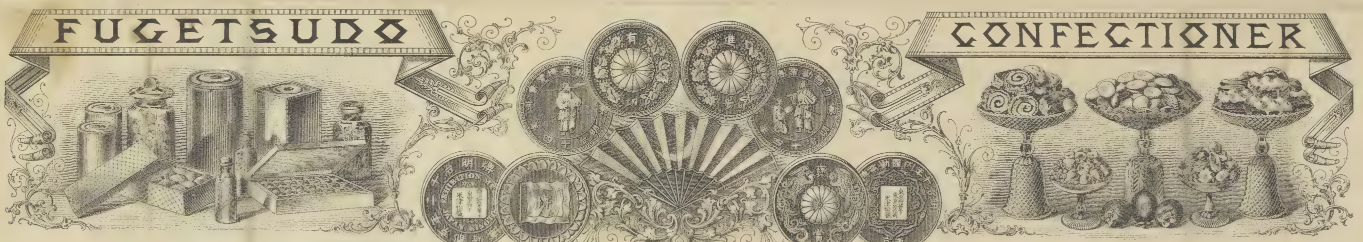
COLLYRIUM
精錡水

安息香
天仙速感應
聆嚮如意樂

黄玉堂



FUGETSUDO CONFECTIONER



稟告

良製ビスケット

西洋ニテ滋養第一ト称スルビスケットハ其味甘美淸爽淡泊ノ雅品ニシテ花晨月夕飯後茶前特ニ咖啡ヲ喫セシアトナトハ必ラス欠ク可カラサル良菓ナリ加之善ク脾ヲ調シ胃ヲ補ヒ愛子愛孫ノ食用ニハ他ノ食物ヲ調和スルノ功アリ隨テ過食モ害ナク實ニ洋人常食ノ珍ト為ス・ユヱンナリ

最上カステイラ

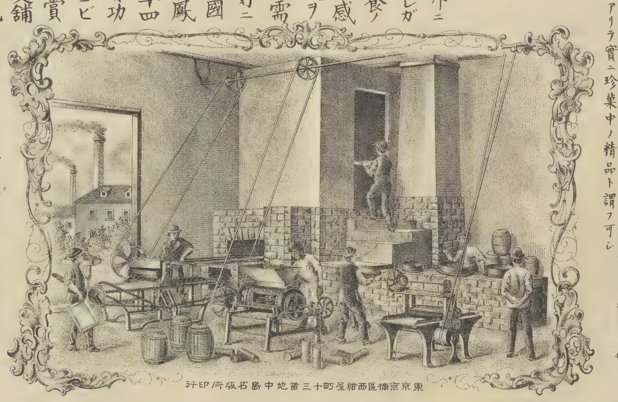
カステイラハ往時蘭人ノ遺法ニ始マリテ本舗ノ経験ニ成リ其味甘キニ泥マズ淡キニ失セズ洒ゝ落ゝ澹泊ナルノ雅趣ハ彼ノ陶家黄金ノ花色ニ似タルハ菓中ノ隠君子トモ謂ツカ茗醼ニ興味ヲ賛ケ酒後ニ餘韻ヲ傳フ實ニ江湖鍾愛一日モ怠タラザルユヘンナリ

新製ボンく

ボンくハ西洋菓品製造中ノ最モ難シトスル処ナリ何トナレバ糖房凝固ノ中ニ流動質ノ飲物ヲ含蔵セシムルモノニシテ殆ント天造モ及バザル作用ヲ人造ニテ製出スレバナリ而シテ本舗辛苦良製ノ結菓ヲ得タルハ夙ニ江湖ノ喝采ヲ博シタリ高會談嚣ムノ時讀書氣倦ムノ後一喫能ク心目ヲシテ豁如タラシメ又妙ニ酒渇ヲ療スルノ快アリテ實ニ珍菓中ノ精品ト謂フ可シ

祝日御飾菓
一 フロンゲイク
一 メンチバイ
其外各種

抑モ西洋菓子ヲ本邦ニ於テ創製セシハ本舗コレガ鼻祖ニシテ厥ノ初メ洋食ノ方サニ世ニ行ハルヽヨリ茲ニ感アリテ該精製ノ工夫ヲ癸企シ洽ネク内外人ノ需用ニ供セシヨリ大ニ時好ニ適シ遂ニ明治十年内國勸業博覧會ニ出品シテ鳳紋賞牌ヲ賜ハリ同ク十四年博覧會ニ於テハ有功一等賞牌ヲ賜ハリ特ニビスケートハ進歩二等賞牌ヲ賜ハリタリ實ニ本支舗ノ榮耀之レニ過ギズ就中ボンくハ最モ本舗ノ焦思苦慮シテ効ヲ奏セシモノナリ此ク再度ノ賞牌ヲ賜ハルノミナラズ既ニ支舗ヲ數所ニ開クニ至リシハ全ク江湖諸君ノ奨勵愛顧ニヨリ開進ノ結果ヲ得シモノナレバ茲ニ鳴謝ノ意ヲ表セン為メ一層廉價ニ販賣シ廣ク御好ニ應シ調進セント欲ス尚クハ舊ニ倍シ愛顧ノ益ス深カランコヲ


東京京橋區西紺屋町三十番地中島石版所印行

歐州風菓子乾蒸餅製造所本舗　東京府下日本橋區両國若松町　風月堂　米津松造
同　分舗　同　京橋區南鍋町　米津恒次郎
同　支舗　同　神田區佐柄木町　穂積峯三郎

明治十五年十月二十九日於三重縣下桑名淸水町淨土寺交友社第二回博物會出品目錄

三重縣下桑名宮通り　濱村庄兵衛

和州唐招提寺古瓦　仝桑名南魚町　西村德右衛門

山岡鐵舟公二行書
伊藤博文公七絶
山田顯義公七絶
西鄕隆盛七古　仝桑名新町　西村仁兵衛

遠州濱名橋古圖
狩野某氏百鬼夜行圖卷
粟田眞人入唐賜宴圖
古代假面　仝朝明郡川北村　丹波修治

阿利襪樹　盆栽
利檬樹　盆栽
菊花　各種
タウフヤウ
椰樹ノ皮及雄花　豆州小笠原島產
金毛狗脊　支那產
ホクチタケ　信州產
仝　伊賀產
象齒　產地未詳
龍鯉　仝
練鵲寫生
條蟲　酒浸
線蟲　水浸
牡蠣殼　藝州廣島產
介品一百種
クギツチ　伊州伊賀郡上神戸村產
クギイシ　紀州東牟婁郡南部山產
赤鉄鑛　產地未詳
溫知社藥物會品目　仝　丹波誠一郎

金絲菜　勢州度會郡川崎產
タウガラシ各種　仝員辨郡治田新町　岡田正堅

キクバトコロ　腊藥以下同　江州愛知郡御池岳產
ルイヤウボタン　仝
チニスゲ　仝
モミヂ一種　仝
ナニスゲ　勢州朝明郡田口新田產
ミチバリ　仝　福尾山產
カンスヽキ　仝員辨郡星川村產
イヌザクラ　仝　山口村產

オホバガシ　仝員辨郡治田山產
コガシ　仝
アカヾシ　仝
木化石　仝桑名郡古野山產
前世界介石ノ圖
古鈴圖　各種　仝　岡田松之助

禾本莎草類六十種
冬桃七顆
葉烟草　勢州員辨郡治田新町產
米利堅種黃蜀葵寫生　仝
洋杏ノ圖
柚橘ノ圖
浦上春琴水墨山水
山本梅逸大古石水仙圖　仝三重郡川北村　川北正則

彫刻山水置物
仝　桑名御坊之景
仝　手箱　仝桑名郡西外面村　中島五平

蕃椒二十種　仝桑名寶殿町　沼波善兵衛

明人祝技山書卷
景文花鳥双幅
光淋絹本山水
萬古燒開祖沼波弄山肖像幷贊　仝船馬町　佐藤義一郎

鳥羽覺猷僧正勝繪圖卷　仝桑名郡又木村　妙長寺

火山玻璃　佐州相川郡產
鑛石　仝　仝本願寺村　佐野秋三

タウガラシ各種
銀砂　勢州桑名郡蓮花寺村產　仝　平野喜六

十時梅涯山水大横披二幅
曲玉　仝朝明郡小向村　森有節

イハシヤウブ　開花以下同
キク　各種
地楡
鉄捍葛

タムラサウ
ヲケラ
龍膽
バイコウハグマ
劉寄奴草一種
ジヤボン五顆
カラス介　城州八幡產
ヘナツチ　勢州朝明郡小向村產
磨砂　仝
雲母　仝
木化石　仝
仝　仝飯高郡飯福田村產
銀鑛　仝鈴鹿郡鹿伏兎山產
木化石　石州小倉山產
玄猪ノ臼
古萬古三兎筆架
仝　赤繪皿
仝　青磁花瓶
仝　菓子器
自製陶器蝙蝠傘ノ柄
トンボダマ　三十種
ガンギダマ
サチタカノ鈴
博物局陶器圖
錦窠翁耋莚誌
丹波氏植物眞影
稻穗　沖繩縣產　愛知縣名古屋仲之町　小壚五郎

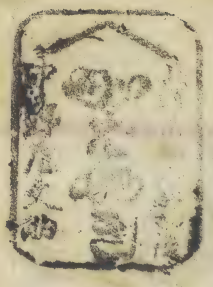
昆蟲譜
介譜
鯖魚圖
鰱魚圖　仝長久寺町　石黑濟庵

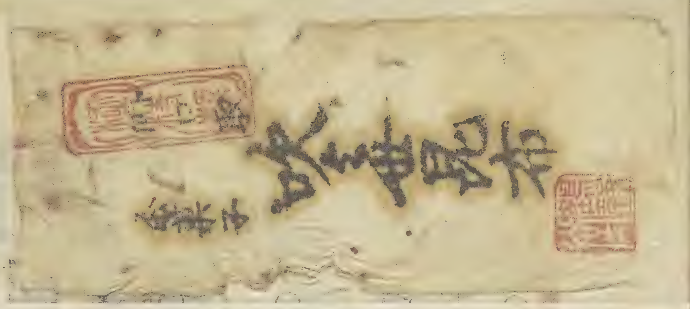
イハグルミ　尾州春日井郡長久手村產
馬璃　仝　勝川產
石絨　產地未詳　仝愛知郡下一色村　犬飼庄兵衛

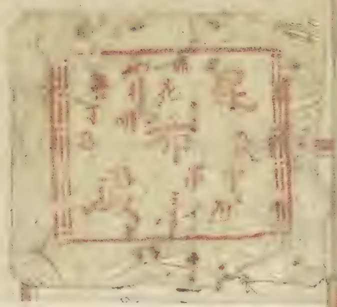
佛頭樣緒石　支那產
阿膠　各種　仝　三重縣朝明郡埋縄村　水谷甚右衛門

食用菌類二十種
非食用菌類三十種　稻垣半三郎

桑名北勢舍刷印







製絲諮詢會員姓名表

番號	縣名	住所	姓名
第壹番	東京府	日本橋區堀留町二丁目二十番地	橋本重兵衛
第貳番	神奈川縣	横濱區弁天通五丁目九十五番地	貿易商會 朝吹英二
第三番	福島縣	岩代國信夫郡福島町東裏二丁目八番地	佐野理八
第四番	神奈川縣	横濱區弁天通二丁目廿九番地	茂木惣兵衛
第五番	群馬縣	上野國南勢多郡水沼村六番地	星野長太郎
第六番	神奈川縣	横濱區弁天通三丁目四拾九番地	原善三郎
第七番	山梨縣	甲斐國西山梨郡甲府柳町壹番地	風間金八
第八番	神奈川縣	武藏國南多摩郡八王子横山町六拾四番地	谷合彌七
第九番	同	横濱區本町三丁目	澁澤喜作
第十番	同	横濱區本町五丁目	三井物產會社
第十一番	同	武藏國南多摩郡八王子大横町六番地	富田造酒之助
第十二番	兵庫縣	但馬國朝來郡玉置村六十八番地	北垣傳右衛門
第十三番	石川縣	加賀國江沼郡大聖寺耳聞山九拾番地	丹羽敬太郎
第十四番	群馬縣	上野國碓氷郡東上礒部村壹番地	萩原茂十郎
第十五番	神奈川縣	横濱區尾上町六丁目八十六番地	同伸社 藤井清
第十六番	大分縣	豐後國大分郡野津原村三百拾五番地	小野惟一郎
第十七番	長野縣	信濃國伊奈郡喬木村二百廿七番地	長谷川範七
第十八番	廣島縣	備後國安那郡西中條村八十五番地	金尾隆平
第十九番	東京府	日本橋區新右衛門町十六番地	川村傳衛代 松谷德平
第二十番	岐阜縣	美濃國惠奈郡付知村四番地	熊谷孫六郎
第廿壹番	宮城縣	陸前國本吉郡横山村二百五拾番地	加藤彦七郎
第廿貳番	岐阜縣	美濃國加茂郡神土村六番地	神戶彌助
第廿三番	長野縣	信濃國上水內郡長野櫻枝町八百四十四番地	鷹野正雄
第廿四番	埼玉縣	武藏國入間郡川越新田町七番地	谷島夏朔
第廿五番	滋賀縣	近江國犬上郡彥根金龜町九番地	高橋建五郎
第廿六番	福島縣	岩代國田村郡三春中町三番地	川俣定藏
第廿七番	山形縣	羽前國南置賜郡大町百三拾三番地	井上富治
第廿八番	埼玉縣	武藏國入間郡川越志義町九百八十六番地	西澤眞吉
第廿九番	愛媛縣	伊豫國北宇和郡吉田町北小路四拾五番地	遠山矩道

授産場資金及純益豫算

一授産場資金ハ左ノ三類ニ成立事

一類恩貸金五千圓
但三ヶ年無利足据置四ヶ年目ヨリ三分利付五ヶ年賦返納之事
此支出區分左ニ
金千圓
但非常失敗之節返納豫備金トシテ有渡安倍郡役所ヱ利倍ノ方法ヲ以テ預ケ置候事
金千圓
内
金貳百五拾圓　損益準備金
金三百六圓　役員給料壹ヶ年分
金三百圓　授産場取建費
金九拾四圓　器具幷雑品買入代
金五拾圓　創立費
金貳千五百圓
但竹細工冠リ笠一途ノ資金ニ差向候事
金五百圓
但西洋形パン入資本ニ差向候積リニ有之候得共先ツ冠リ笠ノ方専務候ニ付追テパン入就業迄三十五銀行ヱ預ケ置候事

二類投資金
但篤志者寄附金ニシテ閉場ノ時ニ非サレハ元金返濟ヲ要セザルモノトシ此金則前銀行ヱ利倍ノ方法ヲ以テ預ケ置士族救助之資金ニ充候事

三類募集株金千圓
但壹株ヲ五圓トシ則貳百株募集シ且脱社之儀者一ヶ年間免サヽル者トス尤壹人ニシテ數株ヲ有シ數人合テ壹株ヲ有スルモ妨ケナシトス本文千圓ノ内差向金貳百圓冠リ笠資本ニ遣廻シ殘八百圓ハ就業居合方相付候迄前銀行ヱ年一割ノ利子ヲ以テ預ケ置此利子ハ株主ヱ配當之事
附リ株金拂込之儀ハ第三十五銀行或ハ頭取ヱ渡スモ適宜タルベシ

一純益豫算左ノ如シ

一金貳千五百圓　恩貸金五千圓ノ内竹笠資金
一貳百圓　株金千圓ノ内ヨリ支出ス
合金貳千七百圓　竹笠資本金
此仕上ケ笠半ヶ年分
貳万百四拾壹蓋
此賣上ケ
代金三千五拾四圓七拾壹錢八厘
内金貳千七百圓本代金引之
差引
純益金三百五拾四圓七拾壹錢八厘
外金三拾圓
但パン入資金五百圓差向銀行ヱ預ケ置半年分利子
二口合金三百八拾四圓七拾壹錢八厘
内
金九圓六拾壹錢七厘　建物及器具買入代開業費ヱ償却
但半期賣徳高百分ノ貳厘五毛
金九圓六拾壹錢七厘　授産場積立金
但同斷
金九圓六拾壹錢七厘　士族救助金積立
但同斷
金拾九圓廿三錢四厘　役員賞與金
但同斷百分ノ五厘
金百五拾三圓　役員半年分給料
金拾九圓　薪炭其外諸費郵税
〆金貳百拾六圓八錢五厘
差引金百六拾八圓六拾三錢三厘　全純益金
但本代金貳千七百圓ニ對シ配當
金拾圓ニ付
金六拾貳錢四厘五毛　半年分
但資本金ニ對シ壹ヶ年壹割貳分四厘九毛ニ當ル

右之通有之候也

明治十五年七月

有渡安倍郡士族授産場

第七拾四號　納人　田中芳男

一金九拾貳円八拾銭九厘

但大書記官田中芳男北海道出張中旅費精算残金

右現金出納局へ相納領収ノ証印ヲ受ヘク候也
但現金領収ノ証印ヲ受タル上ハ當廳へ返納ヲ了シタルモノトス

明治五年十二月九日

會計局長
農商務大書記官武井守正

右金九拾貳円八拾戔五厘正ニ領収候也

明治十五年十二月十三日

出納局金銭取扱方
安田銀行
取扱人

洋味
砂糖霰
金平糖類
氷砂糖類
砂糖漬類
吉野葛
寶來豆
御進物折箱
松
上野廣小路
武藏屋磯右衛門

三盆白

来ル十一月三日
天長節ニ付霞ヶ関外務卿官舎ニ
於テ夜會相催候條午後九時ヨリ
御来臨被下度致希望候也
但小禮服

明治十四年十月廿七日

井上馨
同妻

田中農商務大書記官

殿

田中農商務大書記官殿

英國皇孫接伴事務委員

明廿七日二品嘉彰親王殿下英國皇孫アルベルト、ウイクトル及ヂヨウヂ兩殿下ヲ工部大學校ニ御招請夜會被相催候間午後八時三十分ヨリ令室御同伴同所ヘ御來會有之度此段親王殿下ノ命ニ依リ御案内申進候也

明治十四年十月廿六日

接伴事務委員

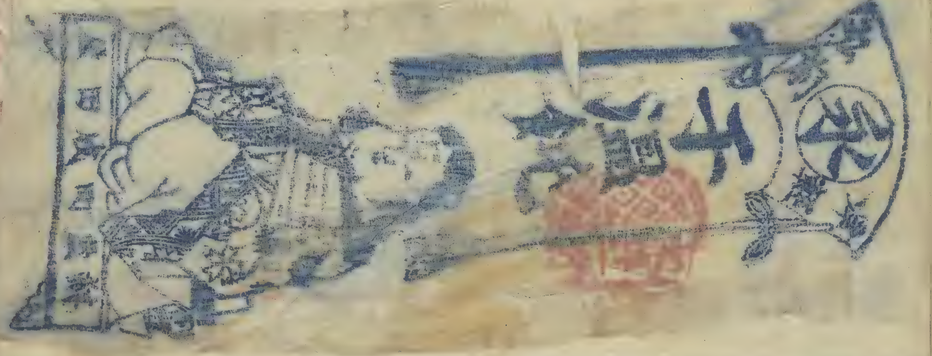
農商務大書記官田中芳男殿

著服ハ燕尾ノ事

大極上

御刻煙草所

西村新七



磐城國刈田郡白石本郷

上品名産木口溫麵

溫麵製造所

鈴木味三郎

明治十三年庚辰七月十一日免許發行

守田家方

萬金丹

寶丹本舗

東京池之端仲町 守田治兵衛

効必如神

御用方

大人ハ壹度ニ拾粒より貳拾粒ぐらいまで用ゆべし 幼稚のものハ其生年ニ準し数を減して用ゆ 但しやんせきにハ生姜のおろし汁にて用ひ 又霍乱食傷にハぬるき塩湯にて用ゆるをよろしとし 且引風にハ三四十粒煎じて用ゆべし

價貳錢

萬病解毒丸の略方にして世に名高き良剤なり 今調製方によりて大に効能の差別あるものなり 今此薬品悉く吟味精製せしものなれば必ず尋常の効験の著明なることよく用ひて可知るべし

乱○食傷○解毒○下痢○疝痛○気鬱○眩暈○飲酒○四季感冒○船車酒害に効あり

東京池之端仲町 守田治兵衛謹製

弊舗家祖ノ儀ハ攝津國住吉郡我孫子ノ産 其[illegible]遠孫ニテ往昔延宝八年庚申中當地ニ來リテ薬舗ヲ開キ 今自分ニ及ビ九世該業ニ安ンジ 日本ル文久二年壬戌ニ偶々一種ノ奇薬宝丹ヲ發明シ 幸ヒ其効卓絶ナルヲ以テ方今大イニ世上ニ行布レ 感銘ノ至リニ堪ヘズ候 依テ爾後益百事勉励注意可仕候間 宜シク御試ミノ上御用仰セ附ケ被下度奉伏祈候也

九世嗣

守田治兵衛謹白

…官田中芳男殿

MENU

Du Diner du 15 Dezembre 1881.
au SHIBA-LIKIOU.

Potage a la Bordaloue.
Poisson a la Chambord sace Colbert.
Jambon en belle Vue.
Croquettes a la Vietoria.
Cailles en Caises.
Filet de Bœuf a la Russe.
Choux fleures sauce Hollandaise.
Haricots verts Sautés.
Becasses roties, Salade.
Pouding a la Semouilles.
Bavavois Panachées.
Desserts-Assorties.
Cafe.

一此度下店においてあらたに賣ひろめ申候は宝寿御薬艾の儀さ[illegible]

他家無類

寶壽御藥艾

本家元賣弘所 東京池之端仲町 堺屋治兵衛

[illegible]年[illegible]常つよく[illegible]寒ニ是を納め[illegible]調進仕候は[illegible]

明治三庚午年三月吉日

九世 守田主人謹白

他家無類
寶壽御藥艾

一此度下店をおいてあらたに賣ひろめ申候寶壽御藥艾の儀は[illegible]

本家元賣弘所　東京池之端仲町　堺屋治兵衛

[illegible]年[illegible]こころの[illegible]又ハ[illegible]

明治三庚午年三月吉日　九世　守田主人謹白

MENU

Du Diner du 15 Dezembre 1881.
au SHIBA-LIKIOU.

Potage a la Bordaloue.
Poisson a la Chambord sace Colbert.
Jambon en belle Vue.
Croquettes a la Vietoria.
Cailles en Caises.
Filet de Bœuf a la Russe.
Choux fleures sauce Hollandaise.
Haricots verts Sautés.
Becasses roties, Salade.
Pouding a la Semouilles.
Bavavois Panachées.
Desserts-Assorties.
Cafe.

記
宮田中芳男殿

[illegible]

萬金丹主守田治兵衛之記

折節萬金丹ハ則萬病解毒丸の略方にして世に名高き良劑なれ共然れども其調製方によりて大に効能の差別これあるものなり今此萬金丹の如きハ藥品悉く吟味精製せしものなれバ必ず尋常の品と違ひ其効驗の著明なることよく人用ひて可知 [illegible]
第一氣欝○霍乱○食傷○解毒○下痢○疝痛○氣欝○眩暈○痰咳○停飲○四季感冒○船車酒害に効あり

寶丹本舗　東京池之端仲町　守田治兵衛謹製

弊舗家祖ノ儀ハ攝津國住吉郡我孫子ノ産其[illegible]遠孫ニテ往昔延宝八年庚申中當地ニ來リテ藥舗ノ業ヲ開キ今自分ニ及ビ九世該業ニ安ンジ日夜[illegible]文久二年壬戌ニ[illegible]一種ノ奇藥宝丹ヲ發明シ幸ヒ其効卓絶ナルヲ以テ方今大イニ世上ニ行布レ從ツテ餘藥モ共ニ恩顧ヲ蒙リ歳月漸盛ノ景況ヲ顯ス真ニ以テ感銘ノ至リニ堪ヘズ候依テ爾後益百事勉勵注意可仕候間宜シク御試ミノ上御用御用ヒ被下度奉伏祈候也

九世嗣
守田治兵衛謹白

萬金丹主治之記

折萬金丹ハ則萬病解毒丸の略方にして世に名高き良剤なり
然れども其調製方によりて大に効能の差別これあるものなり今
此萬金丹の如きハ薬品悉く吟味精製せしものなれバ尋常の
品と違ひ其効験の著明なることよろしく用ひて能知し給ふべし

第一氣附○霍乱○食傷○解毒○下痢○疝痛○氣鬱○眩暈
○痰咳○停飲○四季感冒○船車酒害に効あり

守田治兵衛謹製

……國住吉郡我孫子ノ産其…山寺…晴…
…庚中中當地ニ來リテ藥舗ヲ開キ今
…二安シ…日去ル文久二年壬戌中偶々一種ノ奇藥
其効卓絶ナルヲ以テ方今大イニ世上ニ行布シ
…顧ヲ蒙リ歳月漸盛ノ景况ヲ顕ニ真ニ以テ
…テ爾後益百事勉励注意可仕候間宜シク
…御ケ被下度奉伏祈候也
九世嗣
守田治兵衛謹白

紀元二千五百四十一年
十二月十五日夕於芝離宮
饗應獻立

一羹汁　鳥製洋菌同製浮身入
一魚肉　鱒巻身蒸焼製
一獸肉　洋豚洋品冷製
一魚肉　鰕洋品合油製
一鳥肉　鶉雁肝結製紙包
一獸肉　牛脊肉洋菌牛乳油製
一蔬菜　洋菜花牛乳製
一蔬菜　洋豆製
一鳥肉　山鴫蒸焼洋菜
一製菓　洋木實蒸製
一同　牛乳鷄卵冷製寄物
一同　小形數品
一菓實　和洋數品
一食事臺飾附數品

大書記官田中芳男殿

夫灸療の諸病を治せるはあまねく世人の知る處なり
然れバ今ことさらに記さずといへども只その用ゆるところの
艾によりて効用大に優劣これあり然るに當家ハ下唐
おいて新に製し弘むる處の寶壽御薬艾の義ハ則今を距る江
國名産の野艾萬を用ひてこれを撰び精脳を去り凡五七
年をへて古く熟したる是を納め然して調進仕るは
こころの治に用ゆるなり艾を灸にすべき處なれば必
熟したるを又ハ燃灰等の残らざるを撰びて
能よく嬉しく絲綿のごとく相撤しその悽性なるを
たとへ灸して後も用ひありて他に類なきを知り給ふべし

明治三庚午年三月吉日 九世
守田主人謹白

MURAKI JAPAN

一此艾下店においてあつかう…
…

他家無類
寶壽御薬艾

本家元賣弘所
東京池之端仲町
堺屋治兵衛

十六年 種痘ノ節

種痘日廣告

土曜日ハ暫く休み申し候

○月曜日 ○水曜日 ○金曜日

浅草西仲町二十七番地 大野

○土曜日

根岸金杉村三百九十三番地 大野

歌よ
浅草乃ら三日月水金の日よ
根岸ハいつも土よう日とおもへ

但し右出張を以て町名番地名前
相記し請依頼有之得ハ何方へ成りとも
参上種痘可仕候

大野松齋

種痘心得書

種痘傳来 種痘經過 種痘禁忌

○日本にては嘉永二酉年より牛痘の種法行ハる

○六日めより八日めの
○九日めより十日め

毎月種痘

月曜日 水曜日 金曜日
浅草西仲町二十七番地 大野

土曜日
根岸金杉村三百九十三番地 大野

鷄卵

鰹節
御結納物
新干海苔
玉子
一ッ橋通り町
松田屋米次郎

朔日灸

朔日 左九 右八	三日 十一	五日 左十 右九	七日 左九 右八
二日 左十 右九	四日 左十二 右十	六日 九ツ	八日 八ツ

灸忌日の事

子の年ハ二月午の日	丑の年ハ三月寅の日	寅の年ハ三月巳の日	卯の年ハ四月申の日	辰の年ハ十月戌の日	巳の年ハ年中なし
午の年ハ十月午の日	未の年ハ四月子の日	申の年ハ六月子の日	酉の年ハ六月酉の日	戌の年ハ五月卯の日	亥の年ハ九月巳の日

薬王神農

五百袋入

下谷池之端仲町
岡田惣七郎

横濱弁天通二丁目
西村新七

小官共無滞歸朝仕候ニ付来廿三日於延
遼館夜會相催度同日午后八時同館迄御
貴臨被下度此段御案内申上候也
追伸御差支之有無太政官第一局受附掛迄御回
答可被下候
但着服ハ御随意之事

明治十六年八月十九日

山崎直胤
西園寺公望
伊東巳代治
河島醇
吉田正春
廣橋賢光

田中芳男殿

伊勢國朝明郡川北村
丹波修治

證第三十四號

原價
一

右之品封印之儘正ニ受取配達仕候
但原價三圓以上ノ品ハ包ミ紙或ハ届先名宛ノ附札ヘ品名原價御記載被下度若御書記無之品ハ三圓以下ノ物品トミナシ取計可仕候且不着取調三週間限リ

明治[illegible]年八月七日

京橋區南傳馬町一丁目十八番地
品物配達所

品物配達所

田中様

粤東
廣全昌
舖在香港上環海傍開張
正馬蹄粉
自販洋塘正貨請爲

永安號
糯米酒

送り状

明治十六年七月廿日

運賃 掛り物

右之通積送候条御着御査収可被下候也

納扱 受荷人	出荷人 納扱
田中芳男	大阪 神戸榮町四丁目 池田治助店

證

一金

右代正ニ落掌候也

十五年一月廿八日

假本局 學藝雜誌

京橋區弓町十二番地

証

一

右正ニ落手仕候也

明治十六年八月九日

山崎直胤 執事

明治十五年三月十六日ヨリ改正

横須賀港内ヨリ發船 御造船所			横濱鐵道發車	
午前	七時		午前	九時三十分
	十時		午後	十二時四十五分
午後	十二時三十分			三時十五分
	二時			四時三十分
	四時三十分			七時

横濱英國波止場ヨリ發船			東京鐵道發車	
午前	八時三十分		午前	七時
	九時四十五分			八時十五分
正午	十二時			十時十五分
午後	二時十五分		午後	十二時四十五分
	四時四十五分			三時十五分

倉

藤倉支店

池 亀の盛 諸君 弁雙樂 名酒 別製

湯島天神下
御膳 銘酒所
若松屋源兵衛

東京
兩國若松町
風月堂
米津松造

筋違 岡埜

極品 酒石酸

最上極吟味

吟味 池之端仲町 御藥種所 守田分店章

九月七日
贈太政大臣五十日祭志
田中芳男殿

岩倉家
岩佐　武

十九